

人権をめぐる動き

1 国、島根県及び浜田市の動向（浜田市人権教育・啓発推進基本計画抜粋）

(1) 国の動向

西暦	和暦	内容
1947年	昭和22年	日本国憲法施行
1956年	昭和31年	国際連合に加盟
1965年	昭和40年	同和対策審議会答申
1979年	昭和54年	国際人権規約批准
1985年	昭和60年	女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（女子差別撤廃条約）締結
1994年	平成6年	児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）
1995年	平成7年	あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約（人種差別撤廃条約）加入
1996年	平成8年	人権擁護施策推進法制定 ※5年間の時限立法
1997年	平成9年	人権教育のための国連10年に関する国内行動計画策定
1999年	平成11年	男女共同参画社会基本法制定
2000年	平成12年	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律制定 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）制定
2001年	平成13年	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）
2002年	平成14年	人権教育啓発に関する基本計画策定
2004年	平成16年	犯罪被害者等基本法制定
2005年	平成17年	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）制定 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者自立支援法）制定

西暦	和暦	内容
2011年	平成23年	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）制定
2013年	平成25年	子どもの貧困対策の推進に関する法律（子どもの貧困対策法）制定
		障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）制定
2014年	平成26年	障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）締結
2016年	平成28年	本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）制定
		部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）制定

(2) 島根県の動向

西暦	和暦	内容
1998年	平成10年	島根県人権施策推進会議設置
1999年	平成11年	島根県人権施策推進協議会設置
2000年	平成12年	島根県人権施策推進基本方針策定
2003年	平成15年	人権啓発推進センターを島根県庁内に設置
2006年	平成18年	西部人権啓発推進センターを島根県浜田合同庁舎内に設置
2008年	平成20年	基本方針の第一次改定
2019年	平成31年	基本方針の第二次改定

(3) 浜田市の動向

西暦	和暦	内容
2005年	平成17年	合併により浜田市誕生 (浜田市と那賀郡4町村合併)
2006年	平成18年	浜田市人権教育・啓発推進基本計画策定
2007年	平成19年	浜田市人権・同和教育推進連絡協議会設置
2008年	平成20年	浜田市人権尊重都市宣言制定
2009年	平成21年	学校(児童・生徒)版人権宣言集作成
2011年	平成23年	浜田市人権教育・啓発推進基本計画改定
2015年	平成27年	浜田市人権教育・啓発推進基本計画改定
2022年	令和4年	浜田市人権教育・啓発推進基本計画改定

2 人権問題に関する市民意識調査の結果について(令和3年2月調査)

(1) 調査目的

平成26年度に実施した人権問題に関する市民意識調査から6年が経過し、現在の状況を把握するとともに、今後の浜田市における人権施策をより効果的に推進するための基礎資料とすることを目的に行う。

(2) 標本数 1,500人

(3) 標本抽出法 住民基本台帳からの無作為抽出

(4) 調査方式 郵送方式

(5) 調査期間 令和3(2021)年2月15日(月)～3月5日(金)

(6) 回収状況 ア 抽出標本数 1,500

イ 郵送戻数 6

ウ 実質調査対象数 1,494

エ 回収数(回収率) 580(38.8%)

※回答詳細は別添「人権問題に関する市民意識調査報告書【概要版】(令和3年2月調査)」参照

3 浜田市人権尊重のまちづくりに関する条例制定の背景・理由

- 現在、浜田市の人権施策は、令和 4 年 2 月に改定した「浜田市人権教育・啓発推進基本計画」に基づき取組を進めている。
- 本条例は、計画の趣旨を踏まえ、市全体が協力し、人権尊重の理念の普及の推進を目的として制定する。
- 依然として様々な人権問題が存在し、時代の進展とともに新たな人権問題が生じている。

4 制定により見込まれる効果

- 人権に関する理念の普及を推進する。
- 本市全体における人権尊重の理念の普及と人権尊重のまちづくりを一層推進し、市民一人一人の意識向上を図る。
- 社会情勢や時代の進展で生じる新たな人権問題への適切に対応する。

浜田市人権尊重都市宣言

すべての人は、生まれながらにして、人としての尊厳が守られ大切にされ、人間らしく幸せに生きる権利を有しています。

しかしながら、私たちのまわりには、今なお同和問題をはじめとするさまざまな人権侵害、不当な差別や偏見が存在し、また社会情勢や価値観の変化による新たな人権問題も生じています。

私たち一人ひとは、日本国憲法や世界人権宣言の理念の下、たゆまぬ努力を重ねて、差別や偏見をなくし、すべての人が個人として尊重され、それぞれの能力に応じた可能性を十分発揮できる社会の実現をめざします。

ここに、私たち浜田市民は、人権問題について共に考え、理解し、お互いが人権を尊重する心豊かな住みよいまちを築くため、人権尊重の都市「浜田市」を宣言します。

(平成20年6月25日制定)

令和2年度

人権問題に関する市民意識調査

報告書

【概要版】

浜 田 市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施主体	1
3 調査方法	1
4 回答者の構成	1
II. 調査結果の概要	2
1 人権尊重社会に対する感じ方	3
2 風習・慣習に対する意識	4
3 差別や人権侵害を受けた経験	6
4 受けた差別や人権侵害の内容	6
5 差別や人権侵害を受けたときの対応	7
6 関心のある人権課題	7
7 女性の人権問題	8
8 子どもの人権問題	9
9 高齢者の人権問題	10
10 障がいのある人の人権問題	11
11 同和問題の認知経路	12
12 同和問題が存在する原因や背景	13
13 同和地区の人との結婚	14
14 同和問題に関する人権問題	18
15 同和問題に対する考え方	18
16 同和問題の解決方法	19
17 外国人の人権問題	19
18 患者及び感染者等の人権問題	20
19 ハンセン病回復者とその家族の人権問題	20
20 犯罪被害者とその家族の人権問題	21
21 刑を終えて出所した人の人権問題	21
22 インターネットや SNS による人権侵害	22
23 性的少数者の人権問題	22
24 ヘイトスピーチについて	23
25 人権が尊重される社会に向けた取組	23
26 人権尊重のための学校教育	24
過去の研修会への参加状況について	25
今後の研修会への参加について	25

I. 調査の概要

1 調査目的

平成 26 年度に実施した人権問題に関する市民意識調査から 6 年が経過し、現在の状況を把握するとともに、今後の浜田市における人権施策をより効果的に推進するための基礎資料とすることを目的に行う。

2 実施主体

浜田市

3 調査方法

- (1) 調査対象：浜田市に住民登録をしている 18 歳以上の市民
- (2) 標本数：1,500 人
- (3) 標本抽出法：住民基本台帳からの無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送方式
- (5) 調査期間：令和 3 年（2021 年）2 月 15 日（月）～ 3 月 5 日（金）
- (6) 回収状況：抽出標本数 1,500
郵送戻り数 6
実質調査対象数 1,494
回収数(回収率) 580 (38.8%)

4 回答者の構成

(1) 性別構成

	人数（人）	割合（％）
男性	266	45.9
女性	296	51.0
その他	1	0.2
無回答	17	2.9
合計	580	100.0

(2) 年代構成

	人数（人）	割合（％）
29 歳以下	29	5.0
30～39 歳	48	8.3
40～49 歳	72	12.4
50～59 歳	88	15.2
60～69 歳	132	22.8
70 歳以上	194	33.4
無回答	17	2.9
合計	580	100.0

Ⅱ．調査結果の概要

《調査結果の見方》

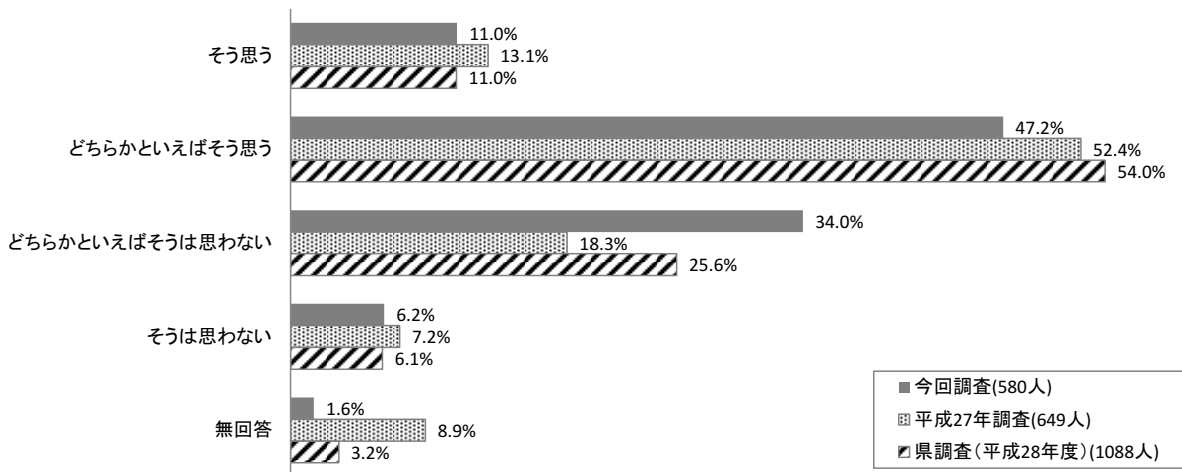
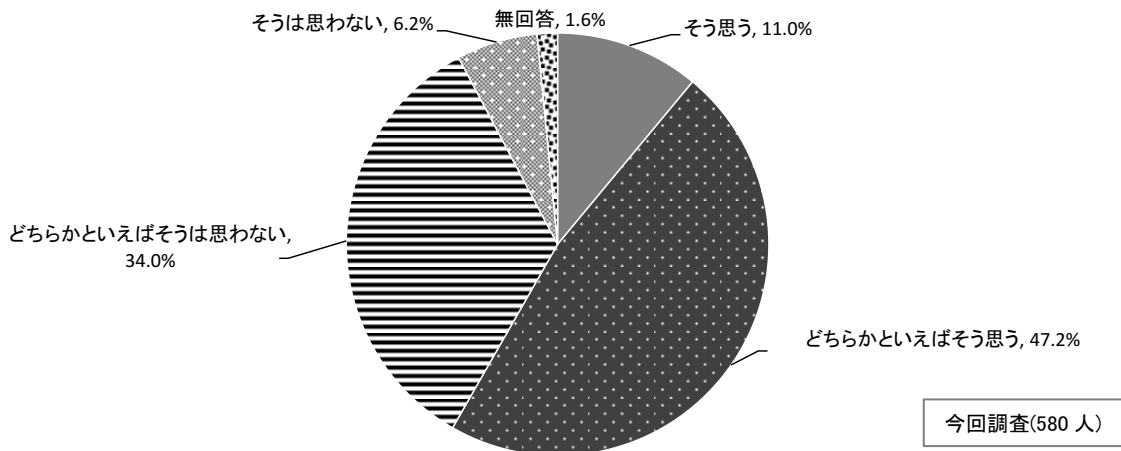
- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数に対する百分比(%)を表している。また、1人の対象に2つ以上の回答を求めている設問では、百分比(%)の合計は100%を超える。
- (2) 百分比(%)の表示は、小数点以下第2位を四捨五入し、少数点第1位までの表示としていたため、必ずしも合計が100とならない場合がある。
- (3) 経年比較・島根県調査との比較は、比較する設問、選択肢及び選択条件などが一致していないものもある。

《比較に用いた過去調査・他調査》

- (1) 平成23年調査(浜田市)
 - ・調査名：人権問題に関する市民意識調査
 - ・調査時期：平成23年(2011年)4月18日～5月2日
 - ・調査対象：浜田市に住民登録をしている18歳以上の市民1,000人
 - ・対象抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出
 - ・調査方法：郵送法
 - ・回収状況：有効回収数457(45.7%)
- (2) 平成27年調査(浜田市)
 - ・調査名：人権問題に関する市民意識調査
 - ・調査時期：平成27年(2015年)3月4日～3月27日
 - ・調査対象：浜田市に住民登録をしている18歳以上の市民1,500人
 - ・対象抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出
 - ・調査方法：郵送法
 - ・回収状況：有効回収数649(43.4%)
- (3) 平成28年度調査(島根県)
 - ・調査名：平成28年度 島根県人権問題県民意識調査
 - ・調査時期：平成28年(2016年)9月23日～10月14日
 - ・調査対象：満18歳以上の県内在住者2,000人
 - ・対象抽出方法：層化無作為抽出法
 - ・調査方法：郵送法
 - ・回収状況：有効回収数1,088(54.4%)

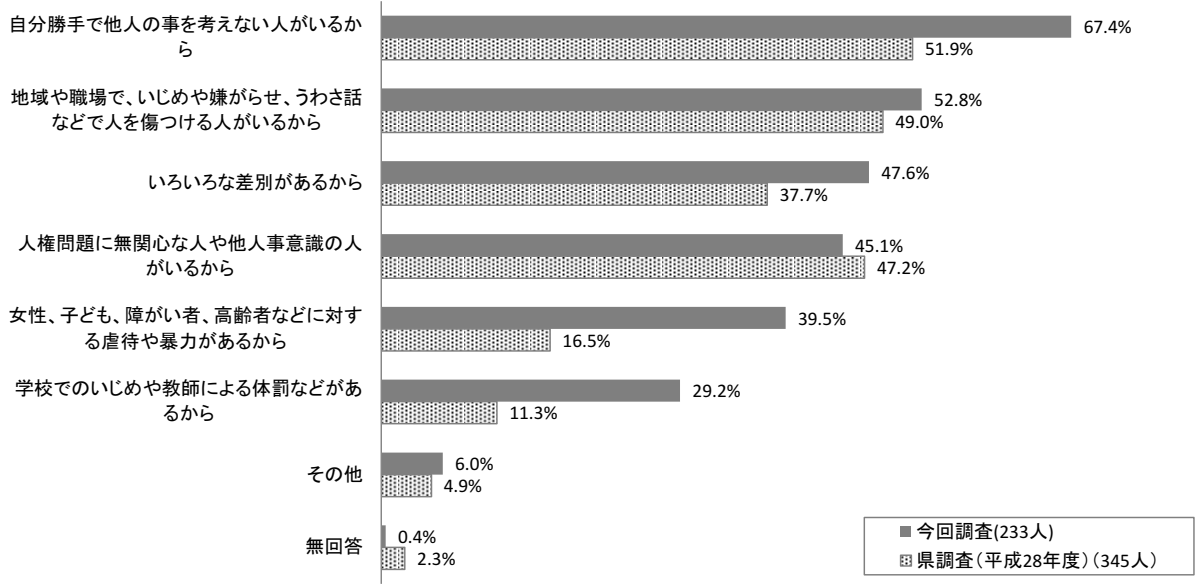
1 人権尊重社会に対する感じ方

問1 今の社会は人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ) ※1



※1 県調査(平成28年度)の設問は、「今の島根県は、人権が尊重される社会になっていると思いますか。」となっている。

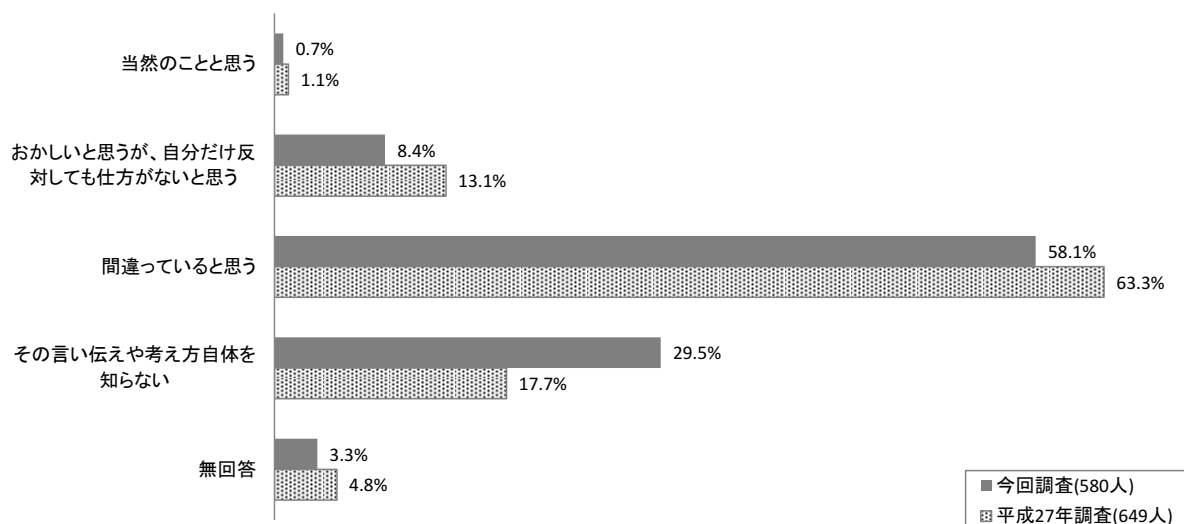
問1の2 問1で「3 どちらかといえばそうは思わない」又は「4 そうは思わない」を選ばれた方にお聞きします。そう思われた理由は何ですか。(○はいくつでも)



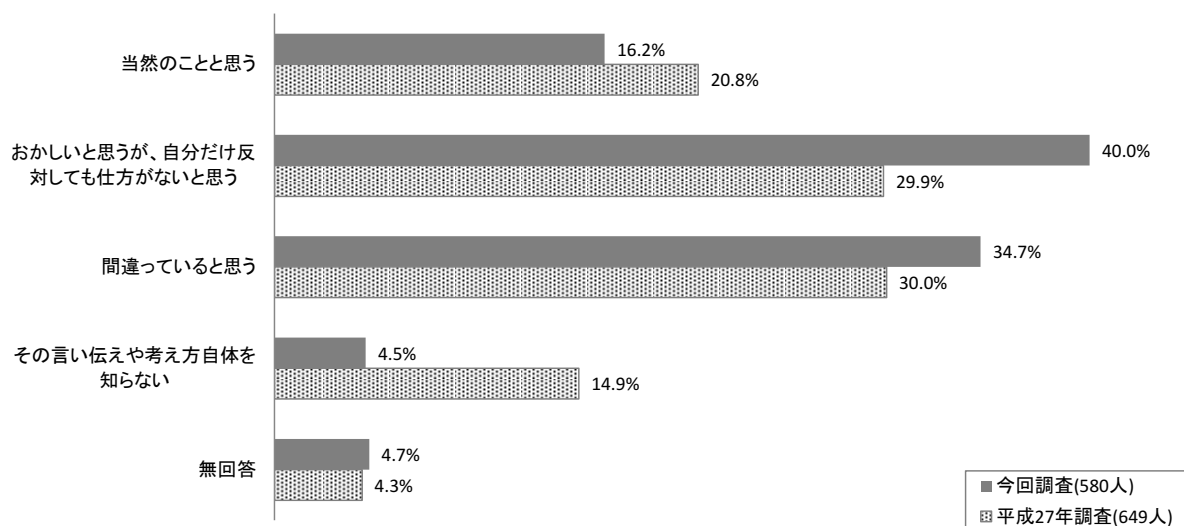
2 風習・慣習に対する意識

問2 日本にはいろいろな風習や慣習がありますが、次にあげるものについて、あなたは
 どう思いますか。次の(1)～(5)のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いも
 のはどれですか。(○はそれぞれ1つずつ)

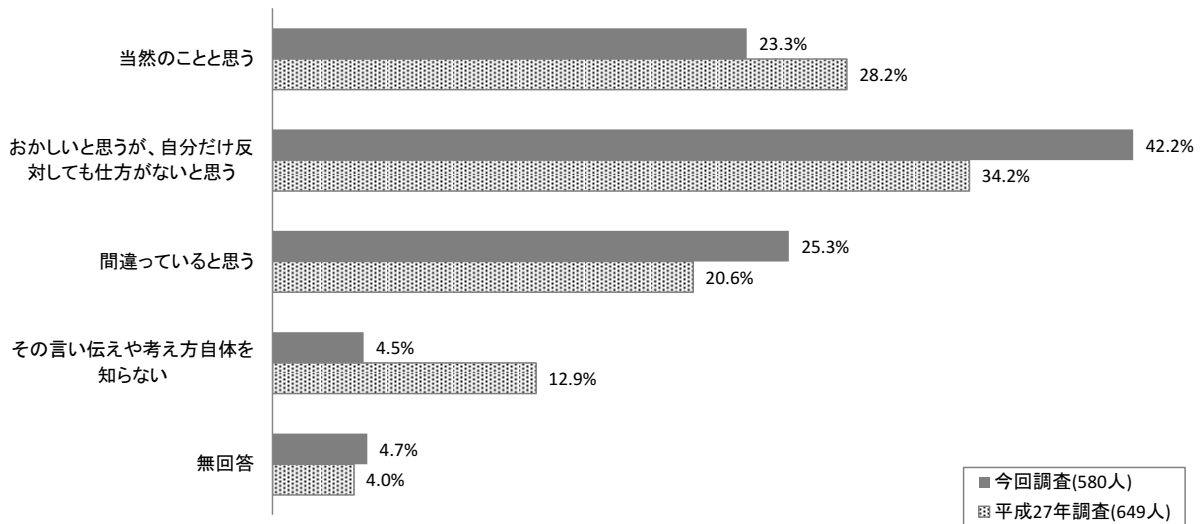
(1) 「ひのえうま」の生まれということで結婚することをいやがること



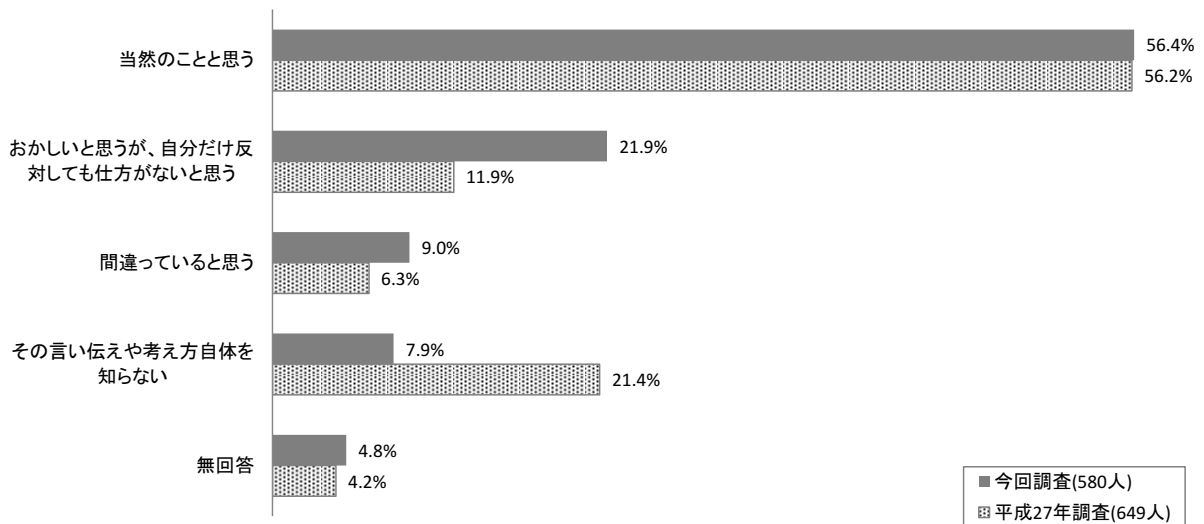
(2) 結婚式は「仏滅」の日を避けること



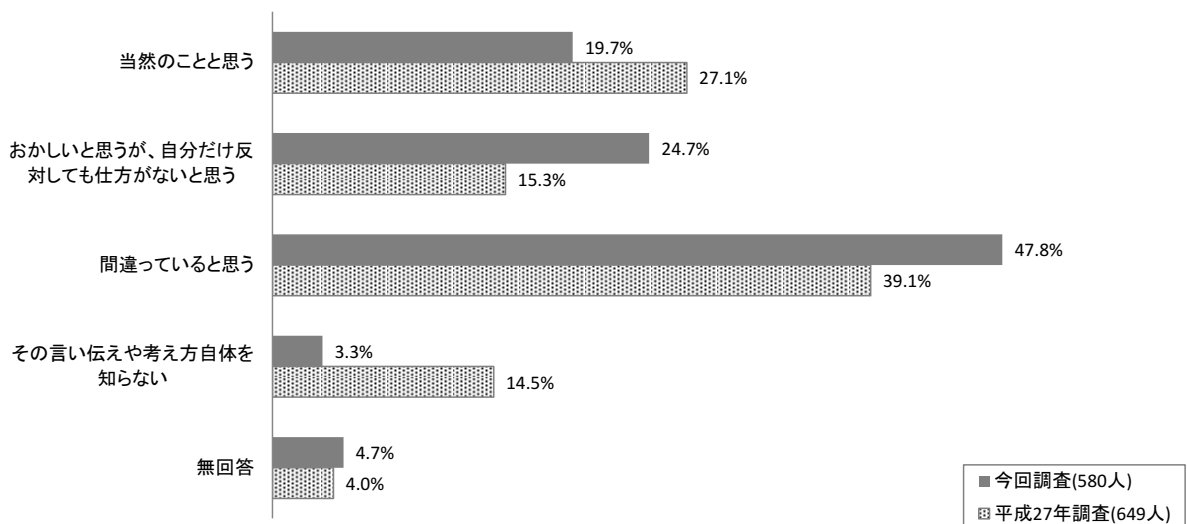
(3) 葬式は「友引」の日を避けること



(4) 結婚式場で「〇〇家、△△家披露宴」といった掲示をすること

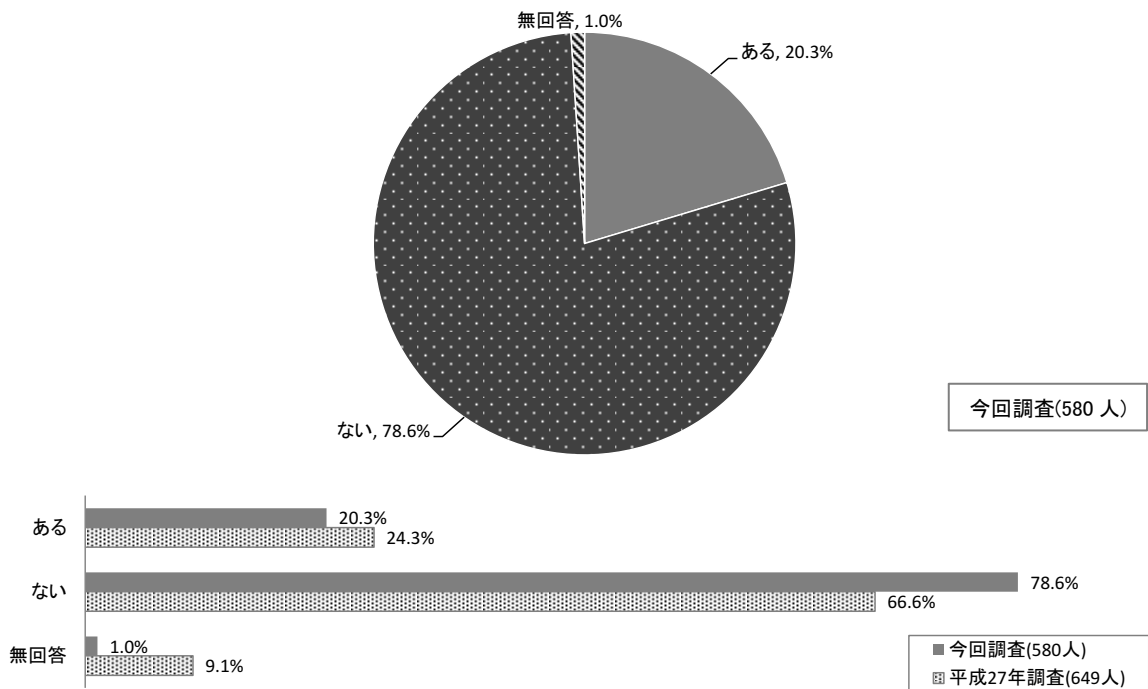


(5) 結婚相手を決めるときに相手方の身元調査をすること



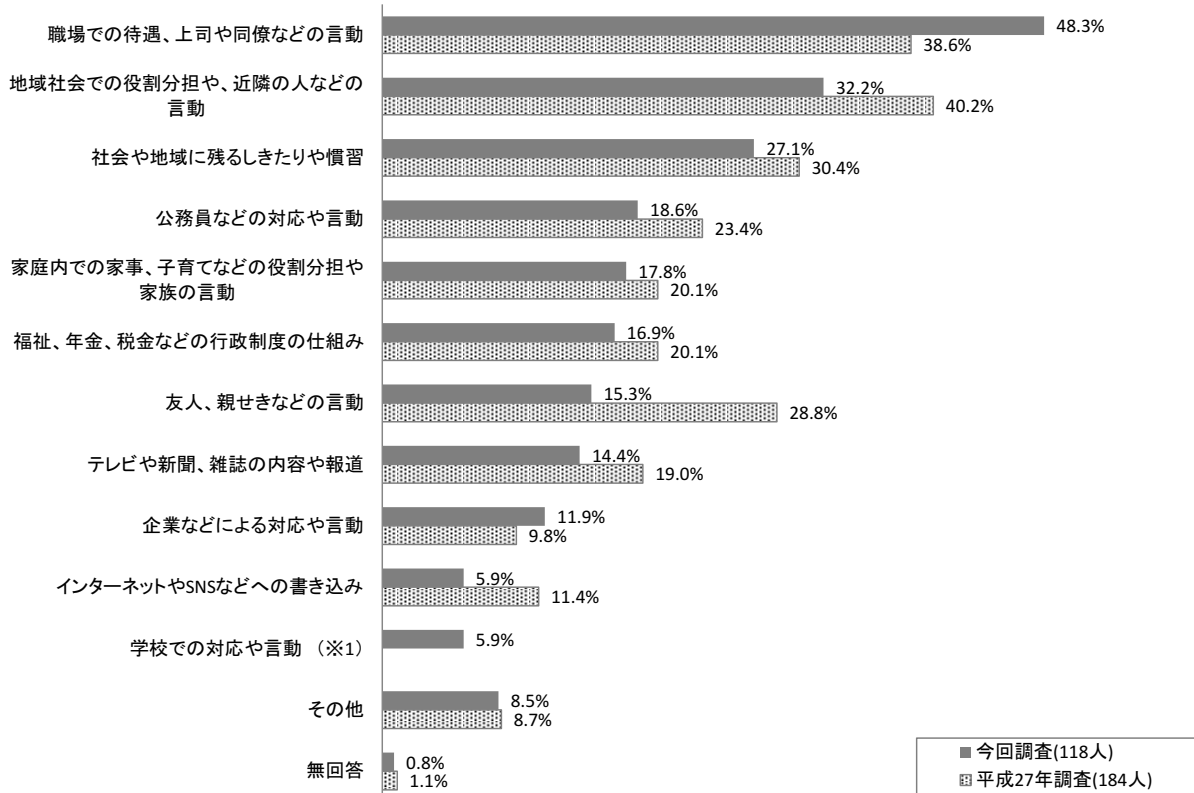
3 差別や人権侵害を受けた経験

問3 過去5年間くらいの中に、日常生活の中で、あなたご自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。(〇は1つ)



4 受けた差別や人権侵害の内容

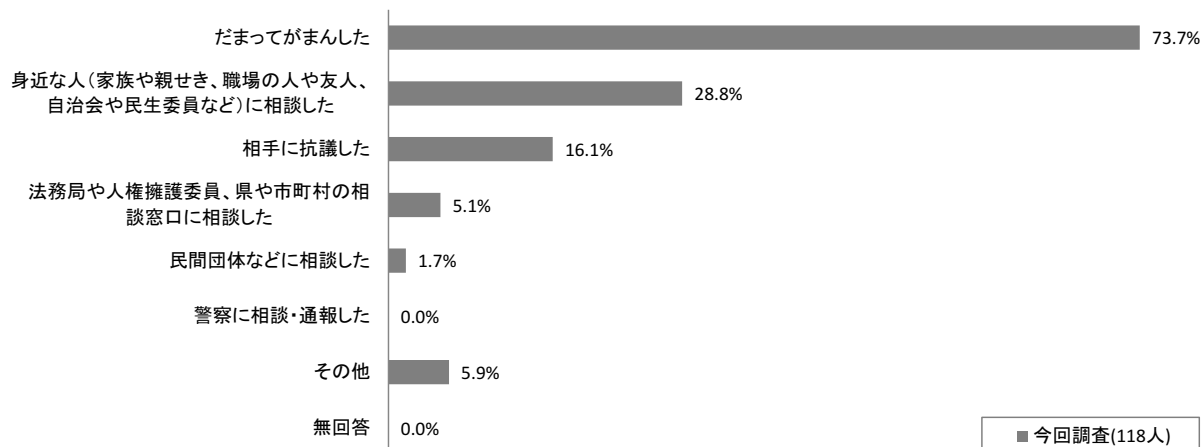
問4 問3で「1 ある」と回答された方にお聞きます。差別や人権侵害を受けたと感じたことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



※1 今回調査から新たに追加した。

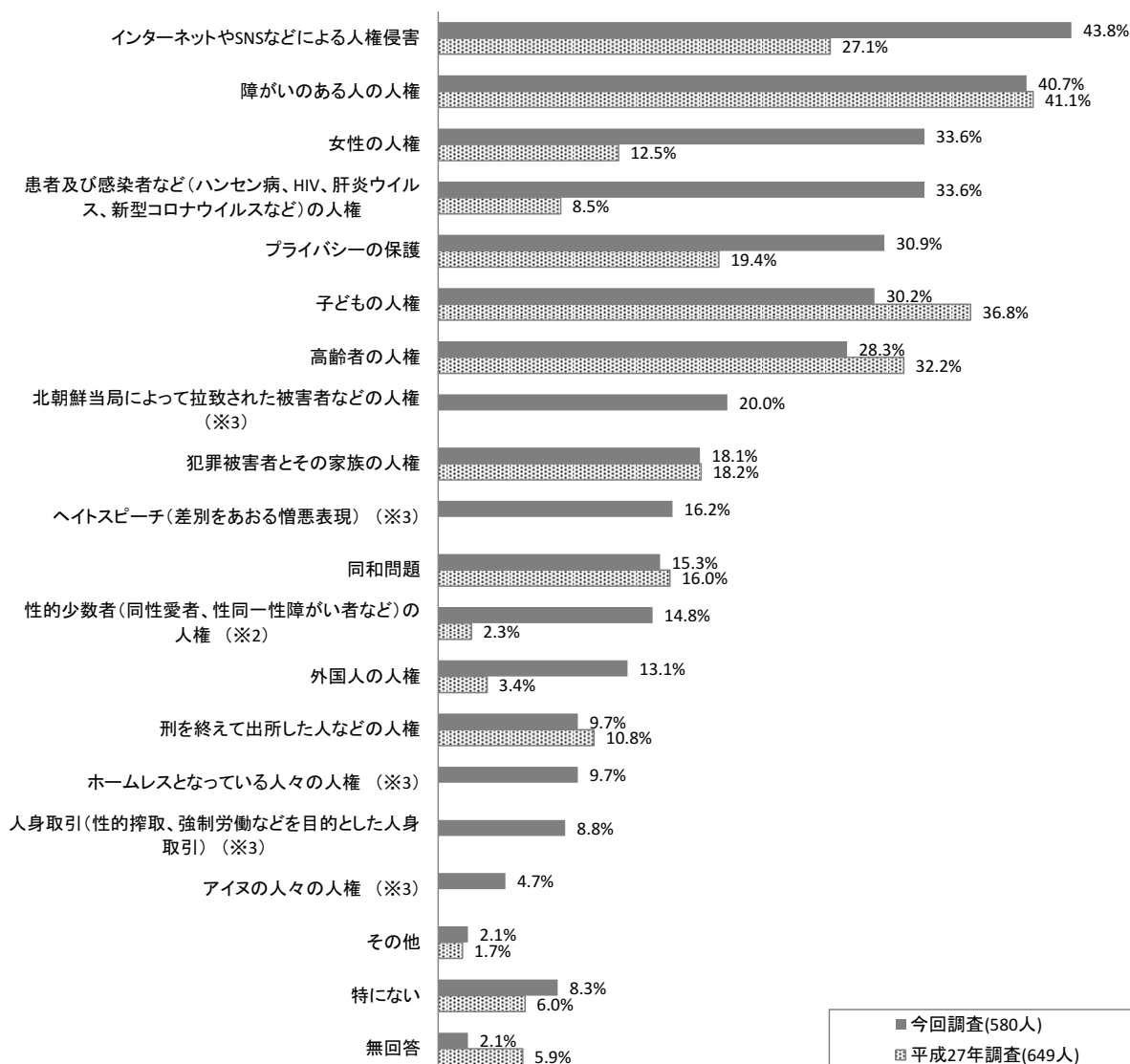
5 差別や人権侵害を受けたときの対応

問5 問3で「1 ある」と回答された方にお聞きします。そのとき、あなたはどのような対応をしましたか。(〇はいくつでも)



6 関心のある人権課題

問6 あなたは、現在どんな人権課題に関心を持っていますか。(〇はいくつでも) (※1)



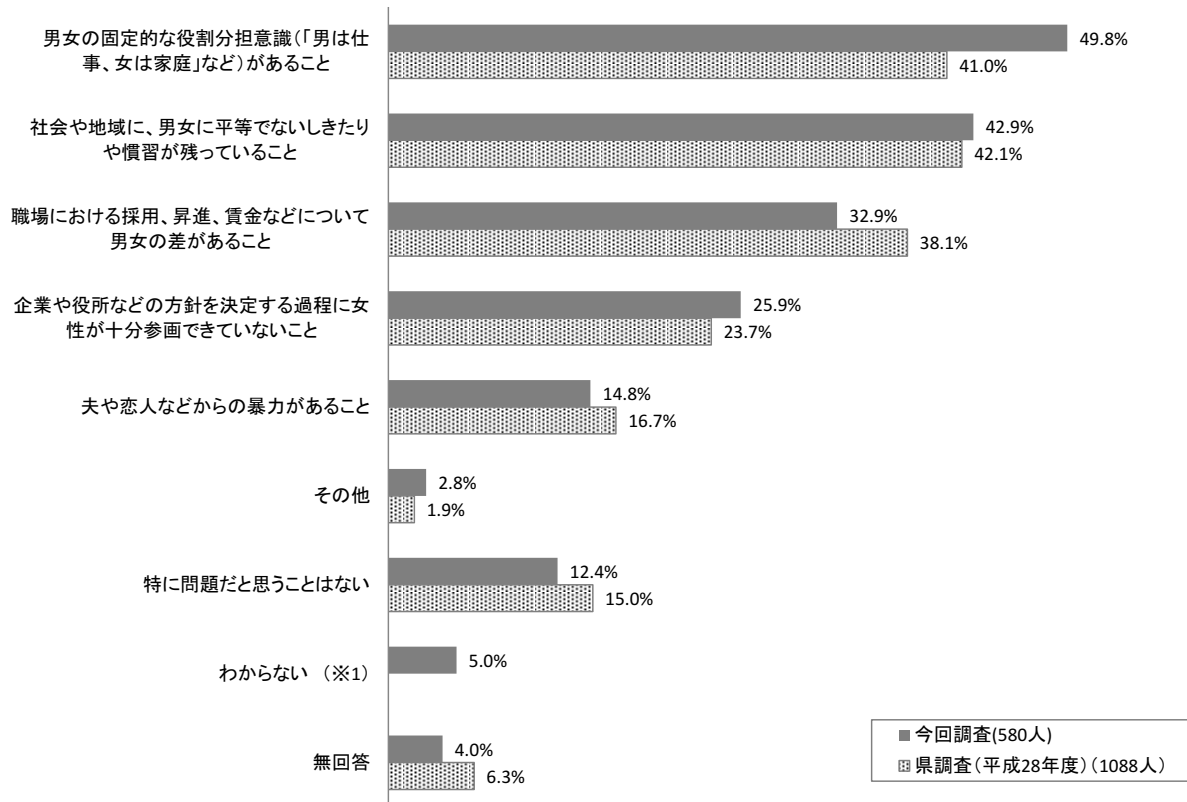
※1 平成27年調査では、「〇は3つまで」としていた。

※2 「性同一性障がい者の人権」という選択肢を、今回調査では「性的少数者の人権」に変更した。

※3 今回調査から新たに追加した。

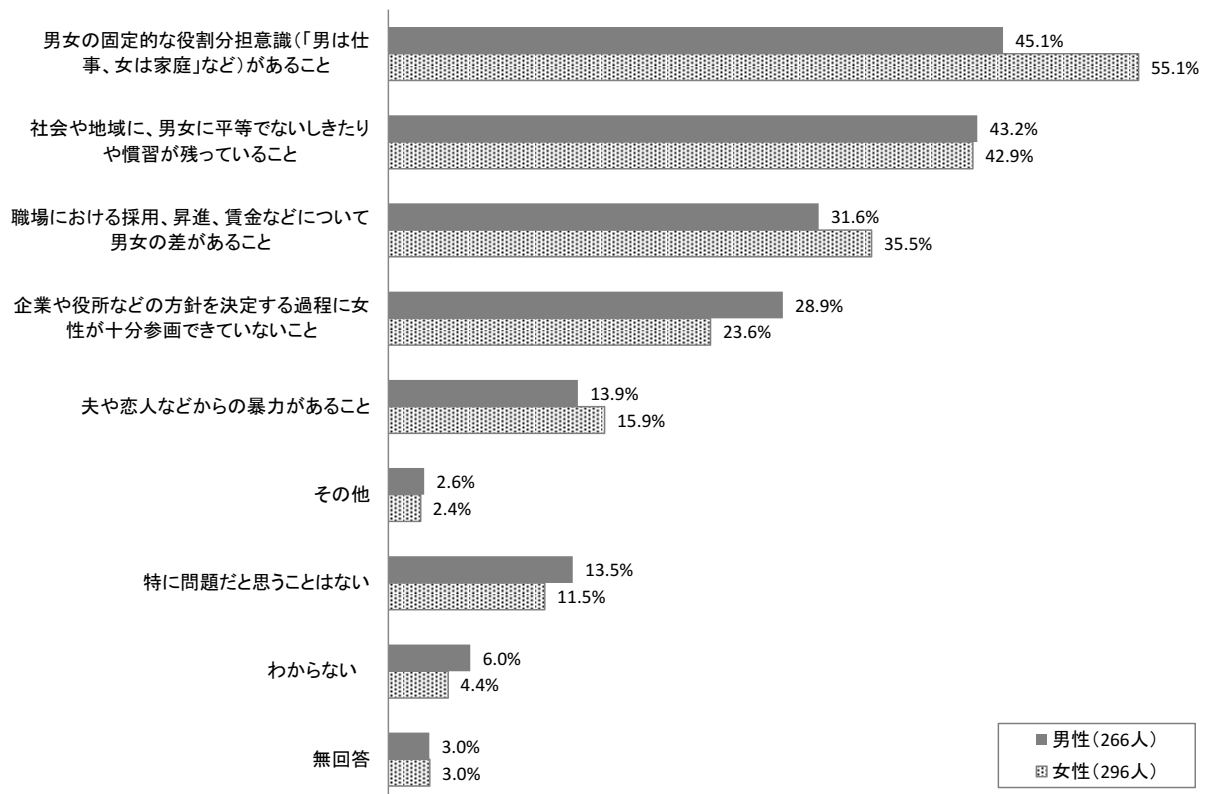
7 女性の人権問題

問7 女性の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。
(〇はいくつでも)



※1 「わからない」という選択肢は、県調査(平成28年度)にはない。

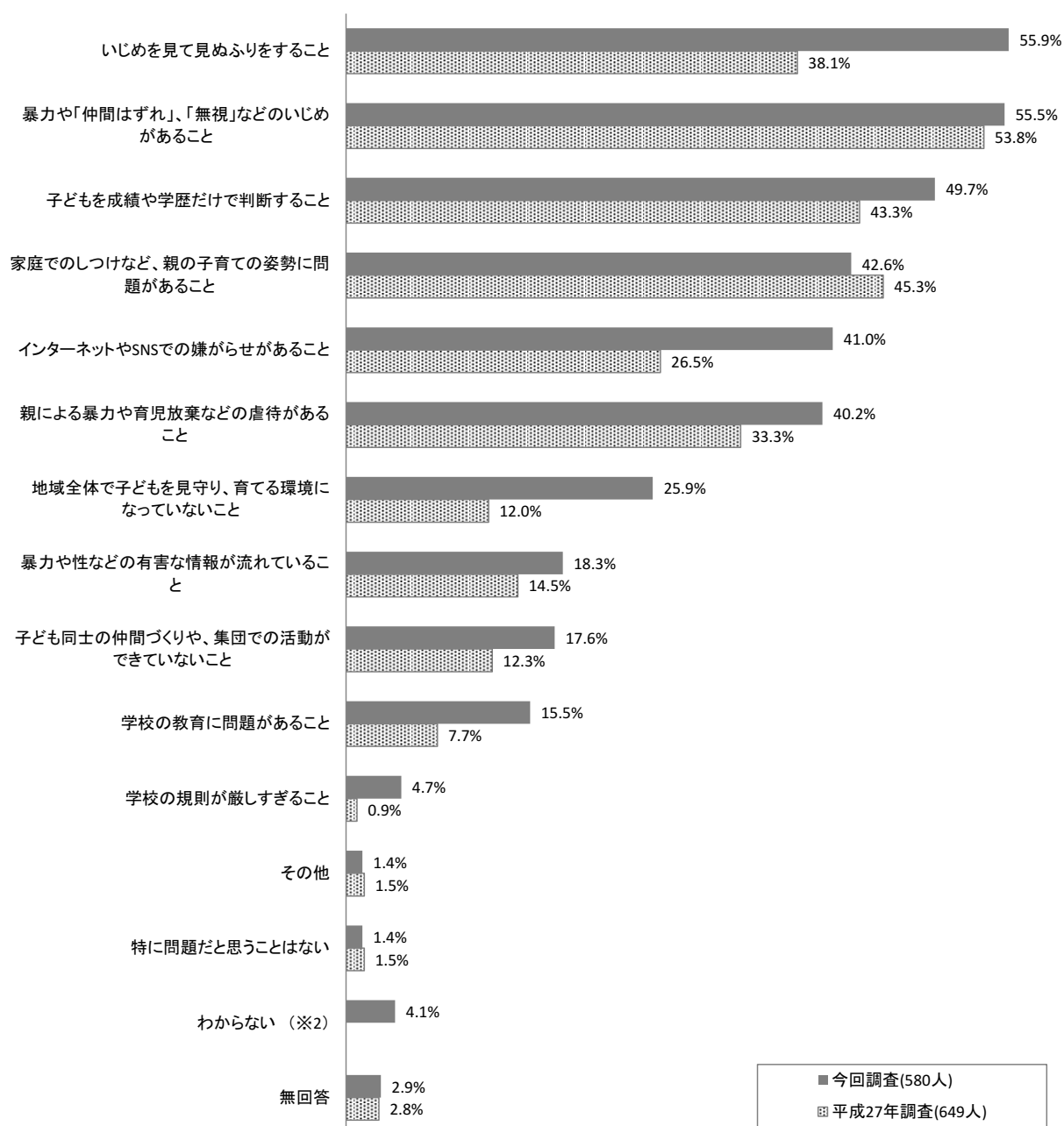
《今回調査の性別の比較》



8 子どもの人権問題

問8 子どもの人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。

(○はいくつでも) (※1)



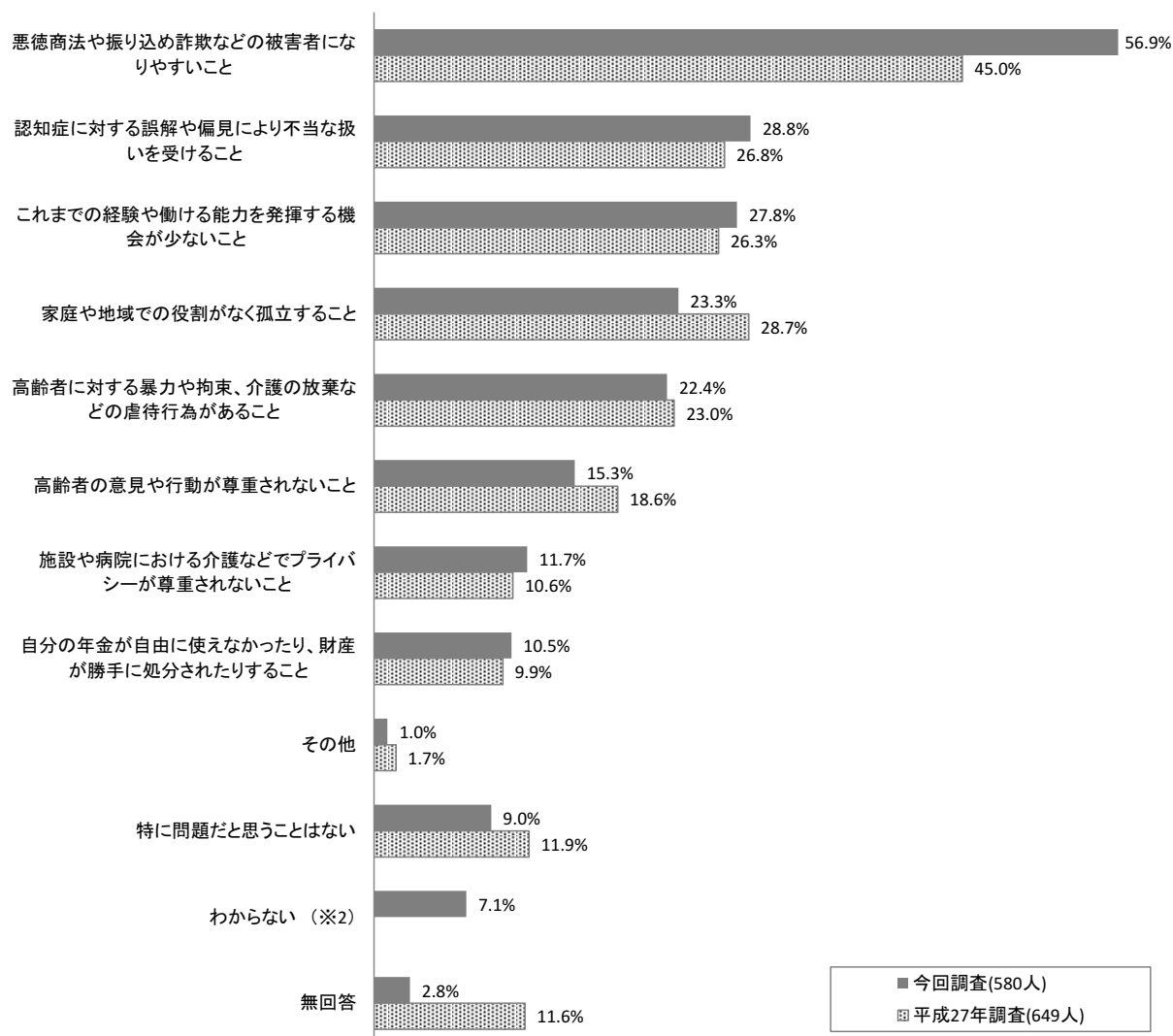
※1 平成27年調査では、「○は3つまで」としていた。

※2 今回調査から新たに追加した。

9 高齢者の人権問題

問9 高齢者の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。

(〇はいくつでも) (※1)

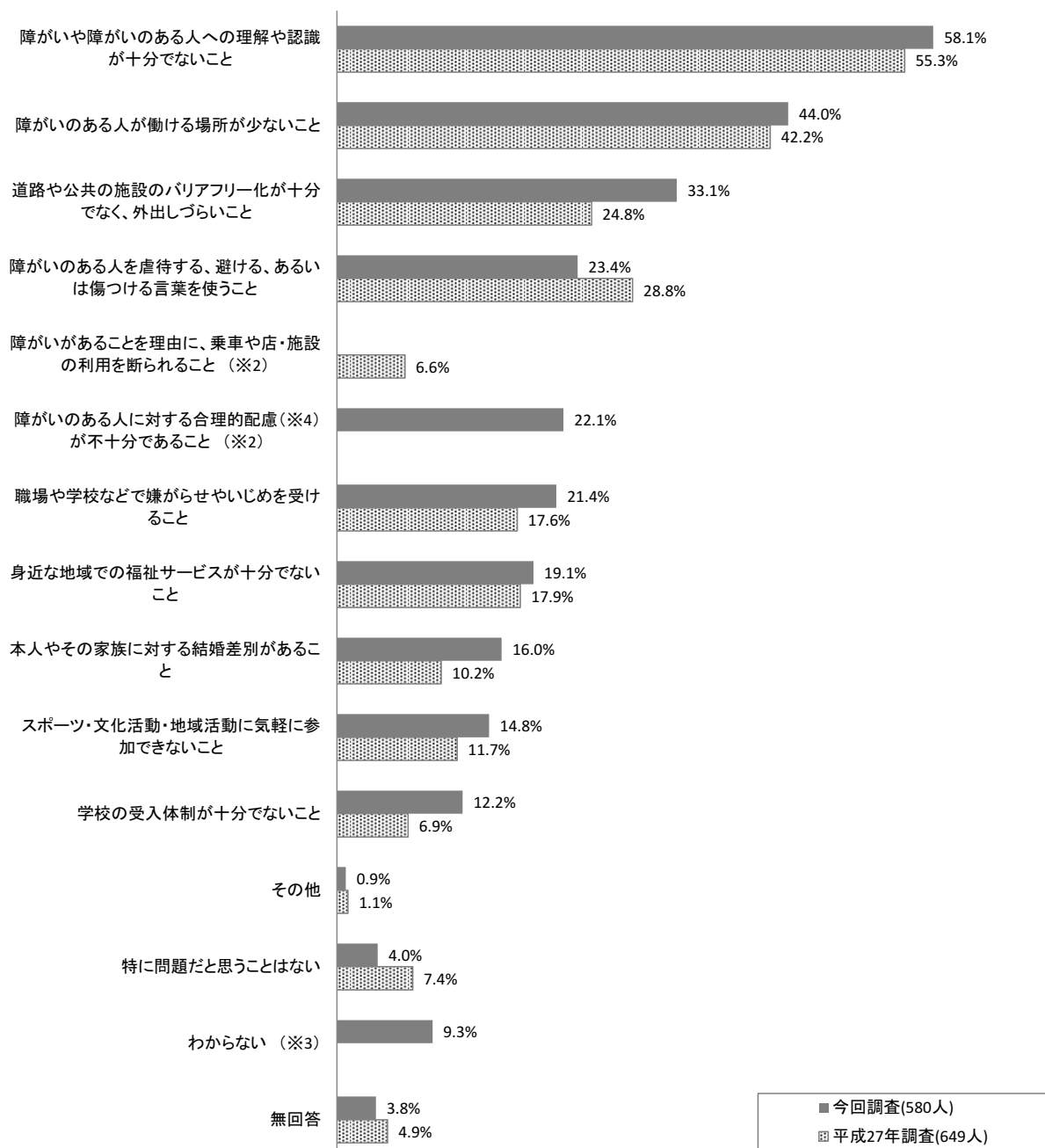


※1 平成27年調査では、「〇は3つまで」としていた。

※2 今回調査から新たに追加した。

10 障がいのある人の人権問題

問 10 障がいのある人の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。
(〇はいくつでも) (※1)



※1 平成 27 年調査では、「〇は 3 つまで」としていた。

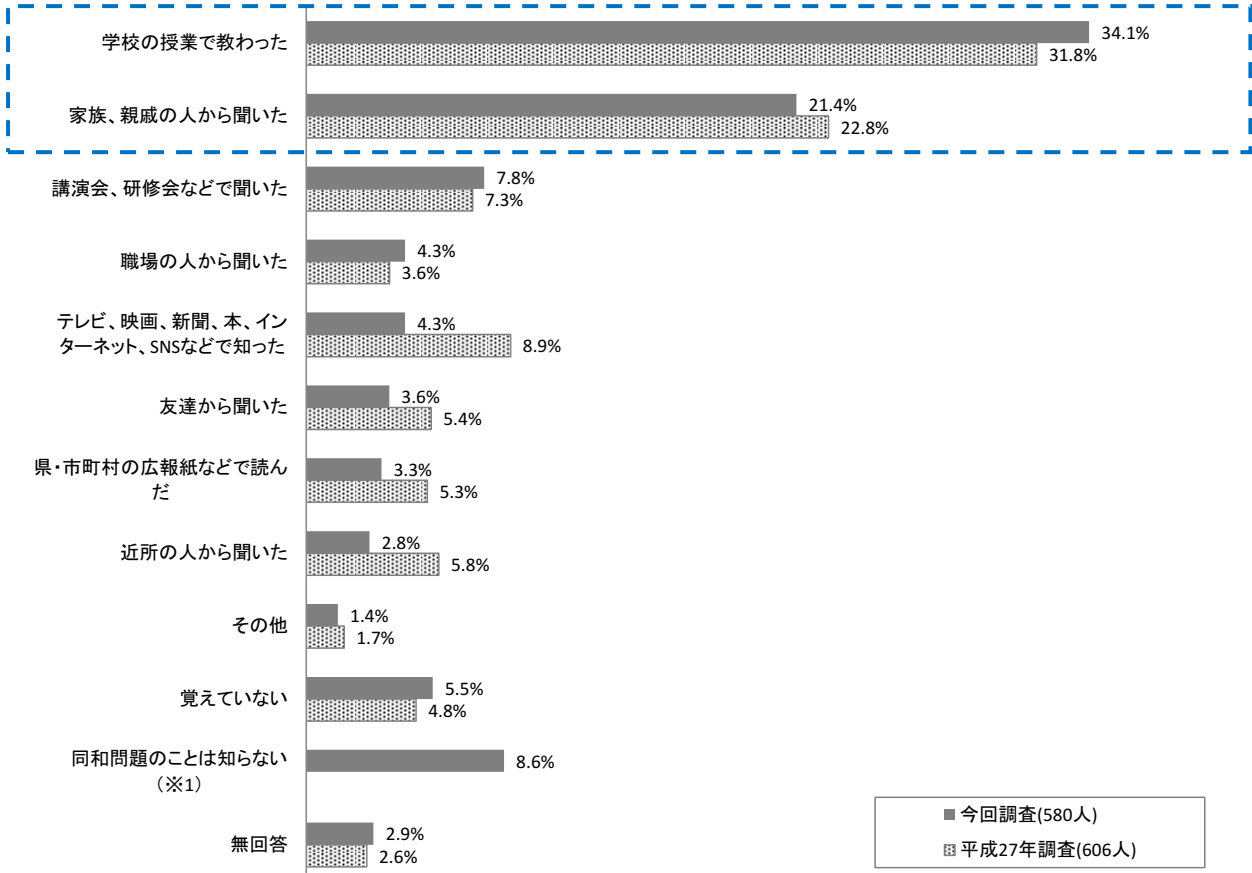
※2 平成 27 年調査での選択肢「障がいがあることを理由に、乗車や店・施設の利用を断られること」を削除し、今回調査から「障がいのある人に対する合理的配慮が不十分であること」という選択肢を追加した。

※3 今回調査から新たに追加した。

※4 「合理的配慮」：障がいのある人が日常生活や社会生活を送るうえで妨げとなる社会的障壁（利用しにくい施設、制度、慣行、観念など）を取り除くために、状況に応じて行われる配慮。

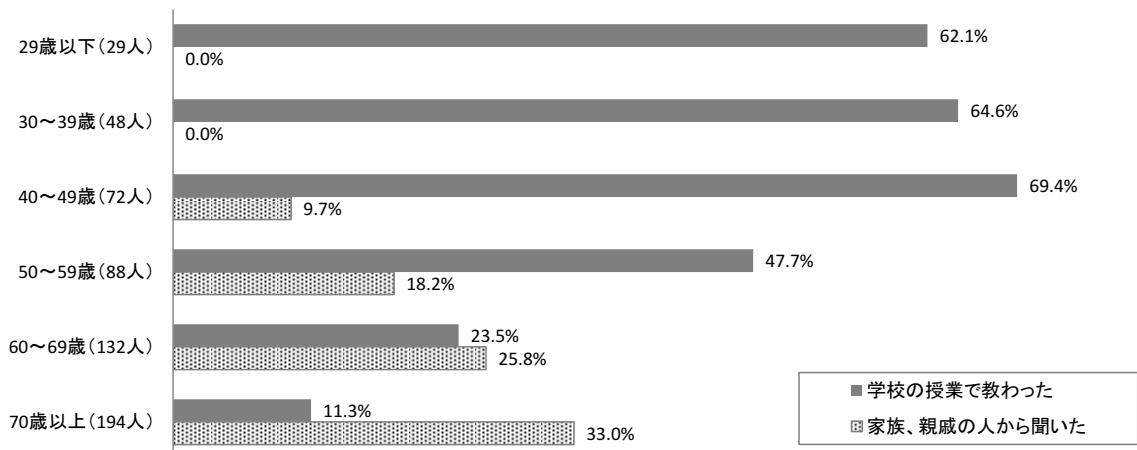
11 同和問題の認知経路

問 11 同和問題についてはじめて知ったのは、どのようなきっかけでしたか。
(○は1つ)



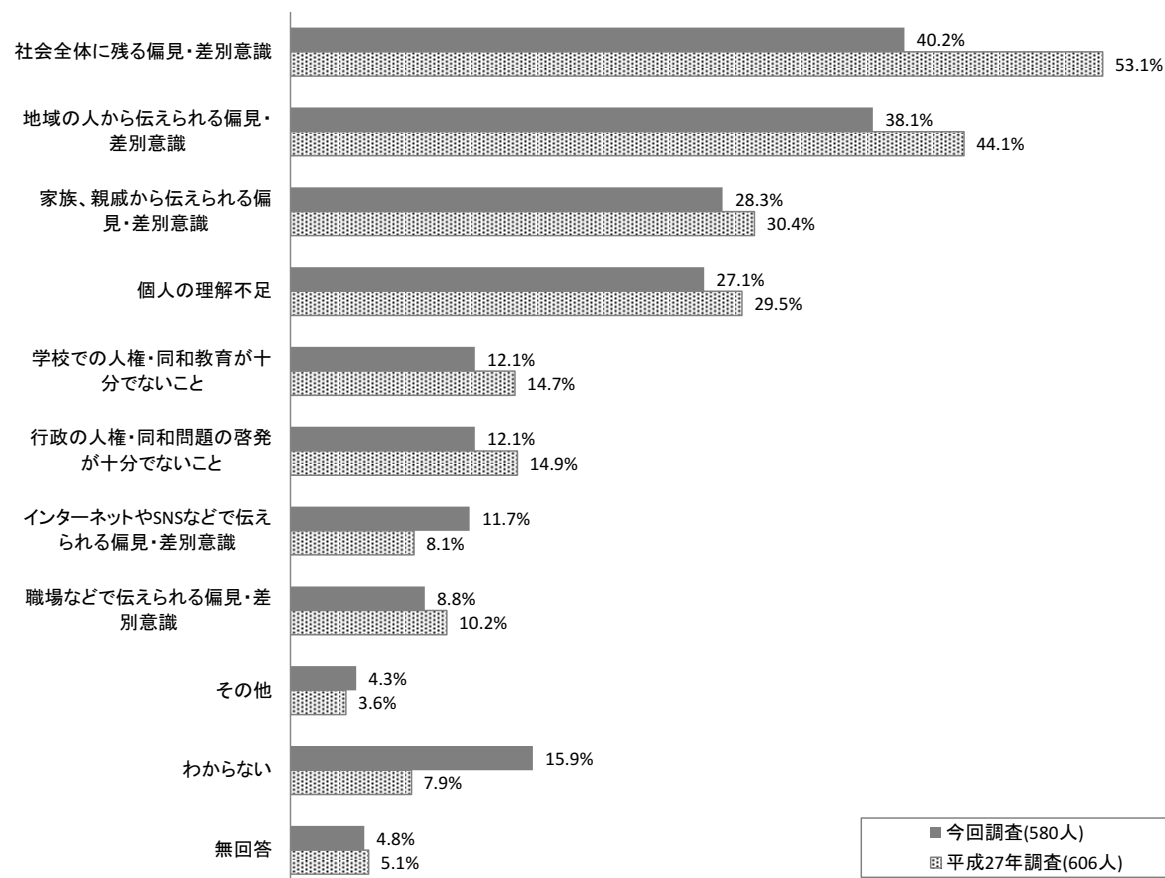
※1 今回調査から新たに追加した。

《今回調査の上位2件の回答に係る年代別の比較》



12 同和問題が存在する原因や背景

問 12 同和問題が今もなお存在する原因や背景として、あなたが思い当たるのは次のどれですか。(〇はいくつでも) ※1

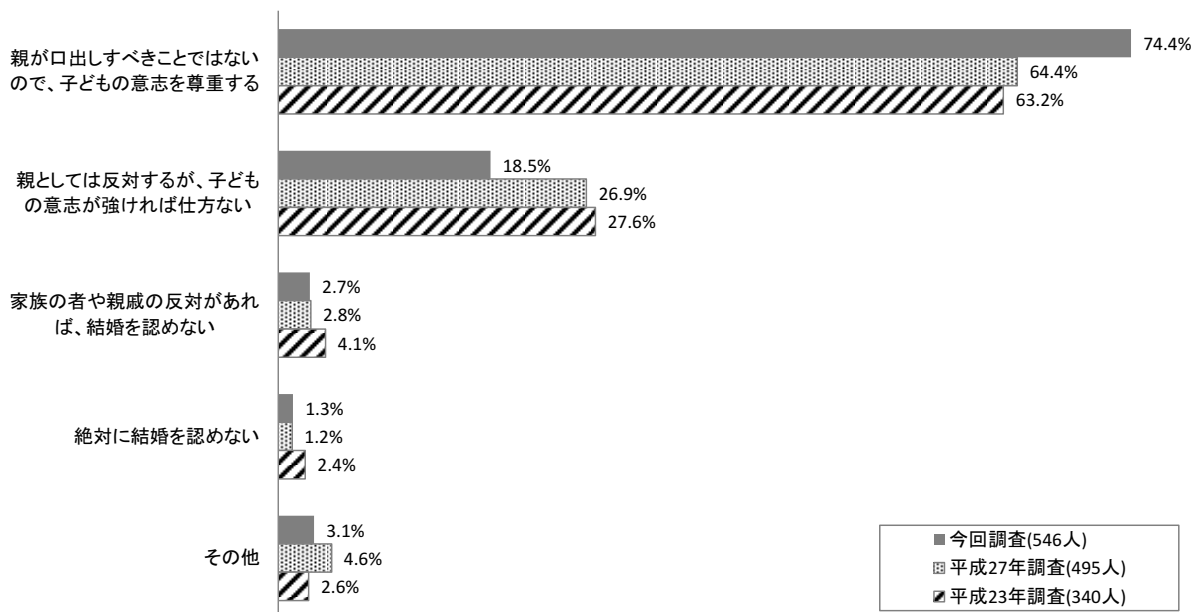
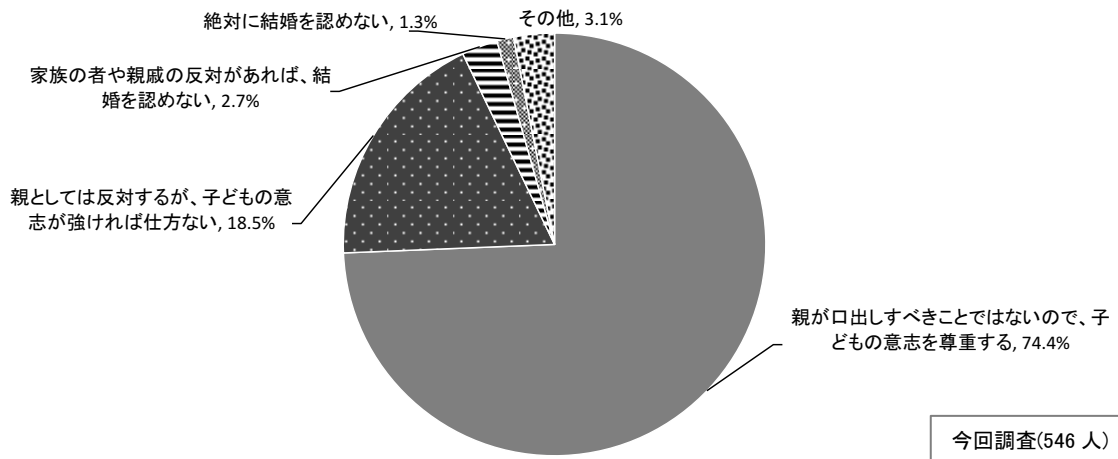


※1 平成 27 年調査では、「〇は 3 つまで」としていた。

13 同和地区の人との結婚

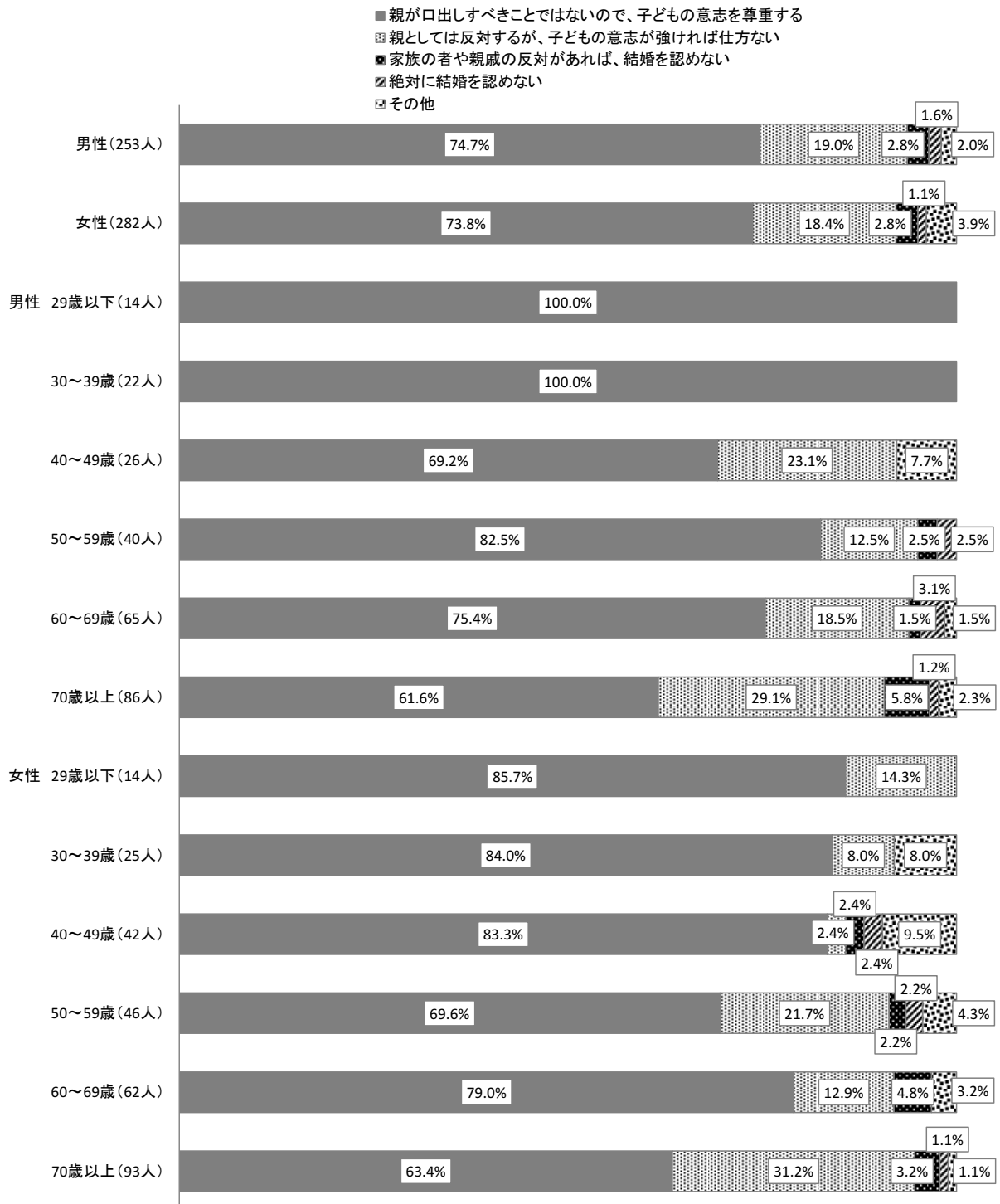
問 13 結婚についてお聞きします。(1)(2)ともにお答えください。

(1) 仮に、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(○は1つ) (※1)

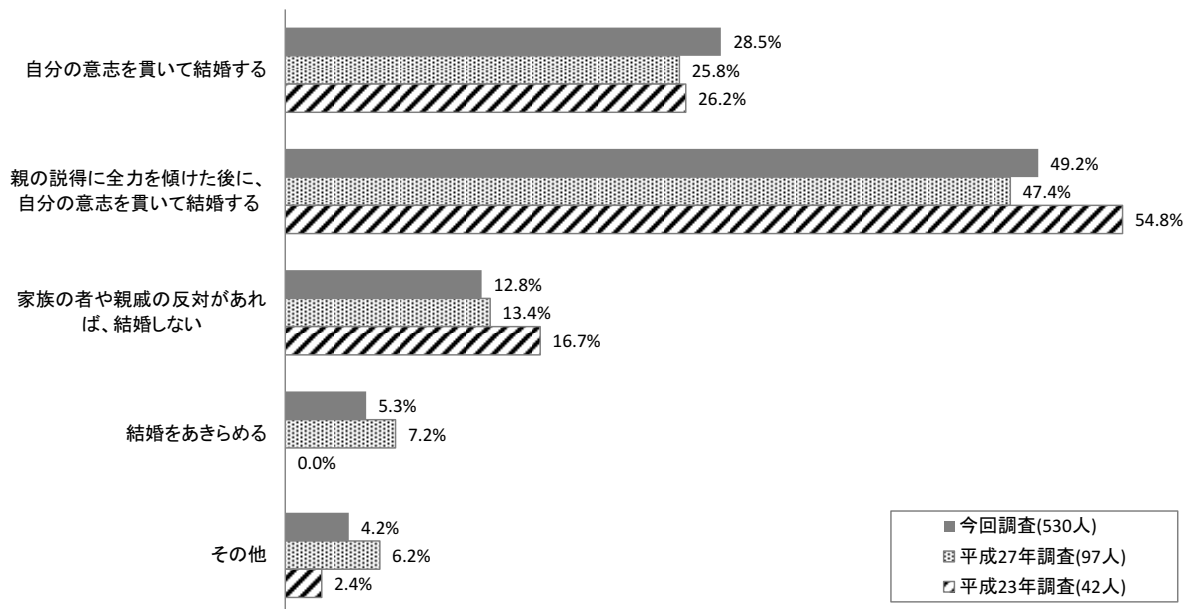
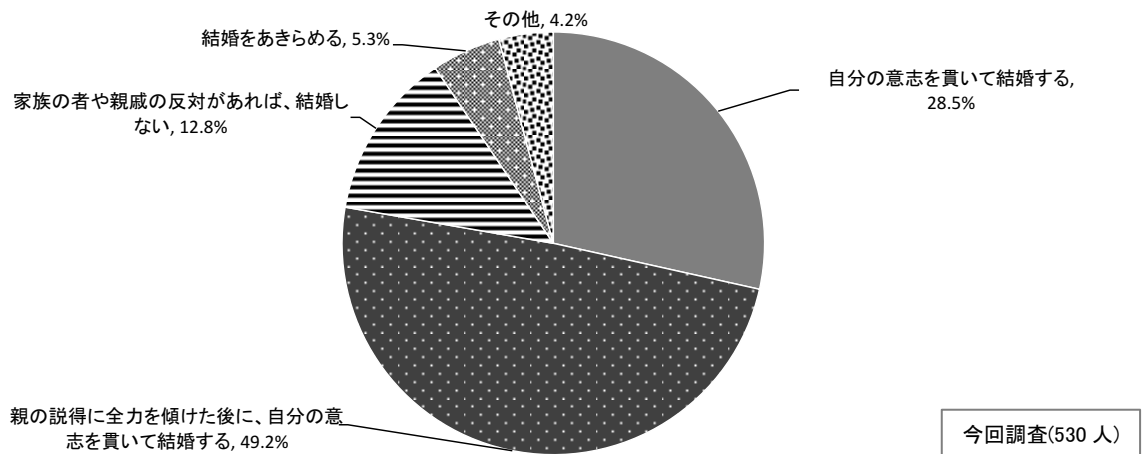


※1 平成 23 年調査及び平成 27 年調査では、既婚の方のみに回答を求めている。

《今回調査の性別・年代別の比較》

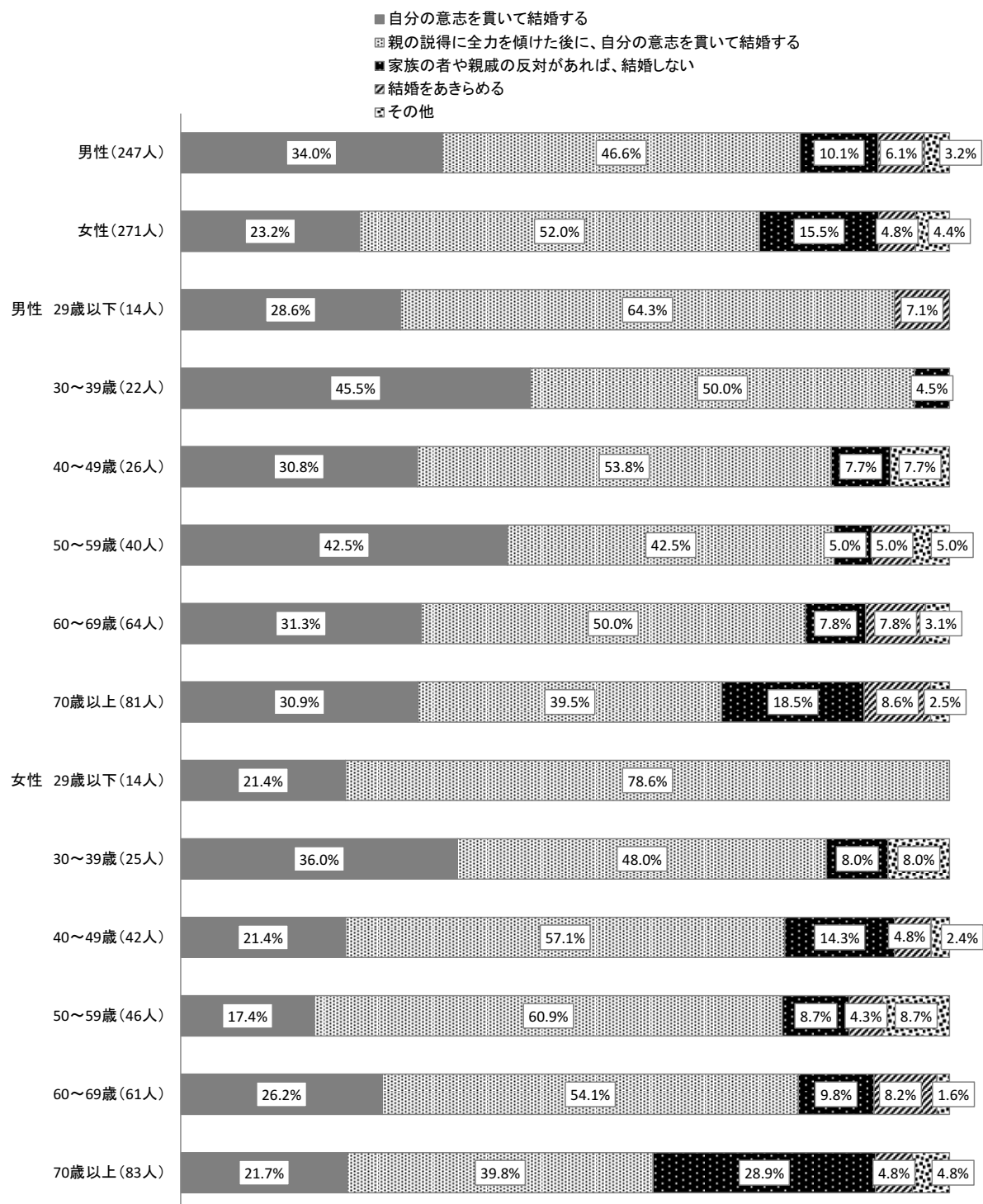


(2) 仮に、あなたが同和地区の人と知り合い、結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けた場合、あなたはどうしますか。(〇は1つ) (※1)



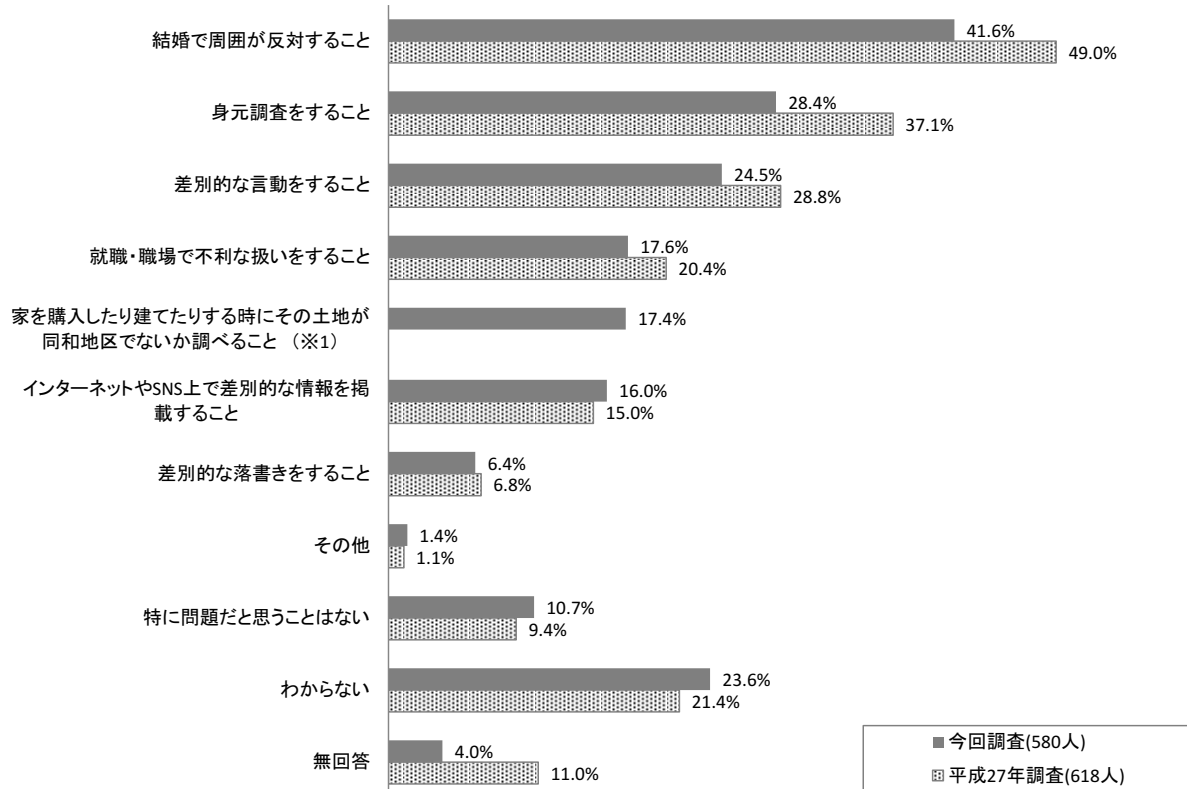
※1 平成23年調査及び平成27年調査では、未婚の方のみに回答を求めている。

《今回調査の性別・年代別の比較》



14 同和問題に関する人権問題

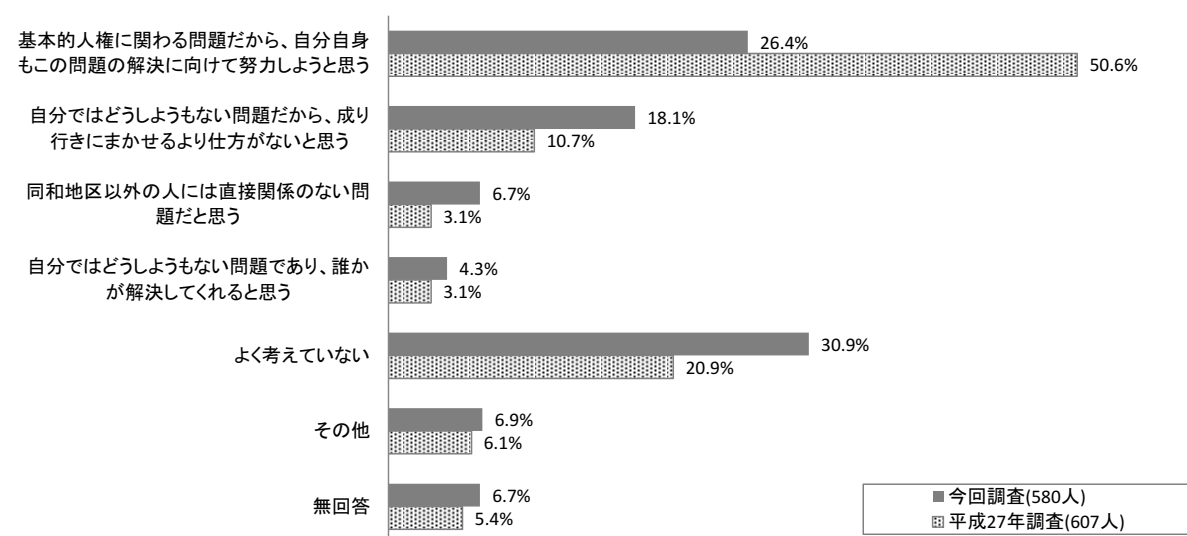
問 14 あなたは、同和問題に関し、現在、どのような人権上の問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも)



※1 今回調査から新たに追加した。

15 同和問題に対する考え方

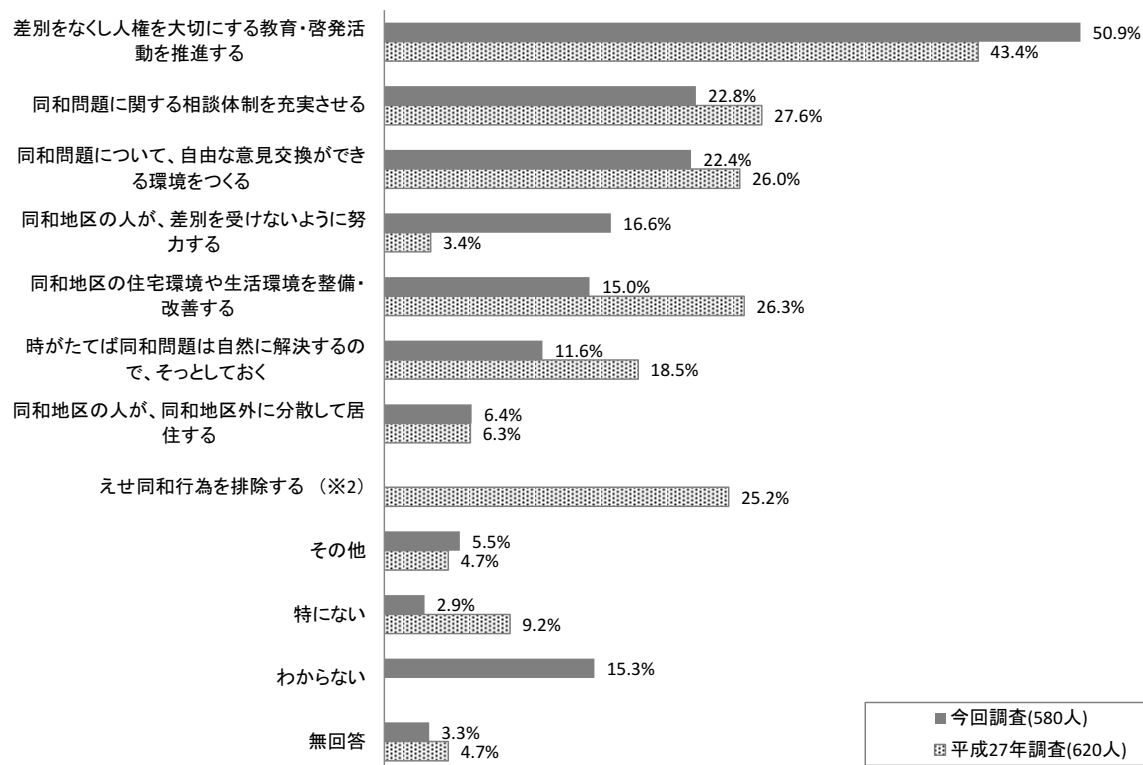
問 15 同和問題に対するあなたの考え方はどうですか。(〇は1つ)



16 同和問題の解決方法

問 16 同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇はいくつでも) (※1)



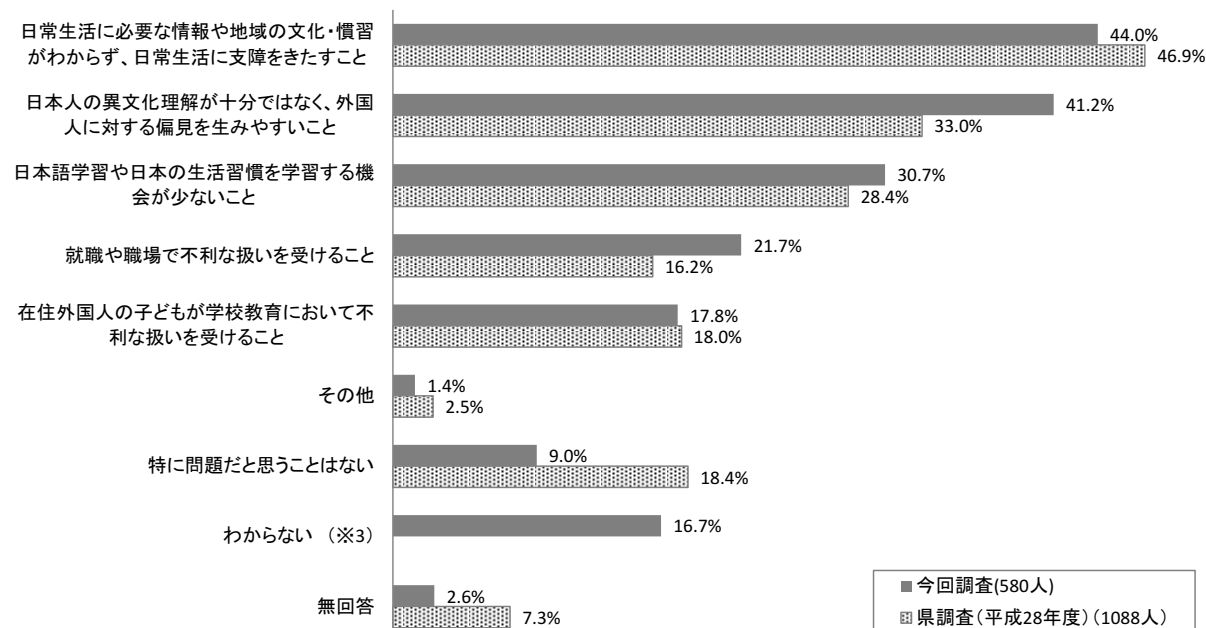
※1 平成 27 年調査では、「〇は 3 つまで」としていた。

※2 今回調査から削除した。

17 外国人の人権問題

問 17 外国人の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。

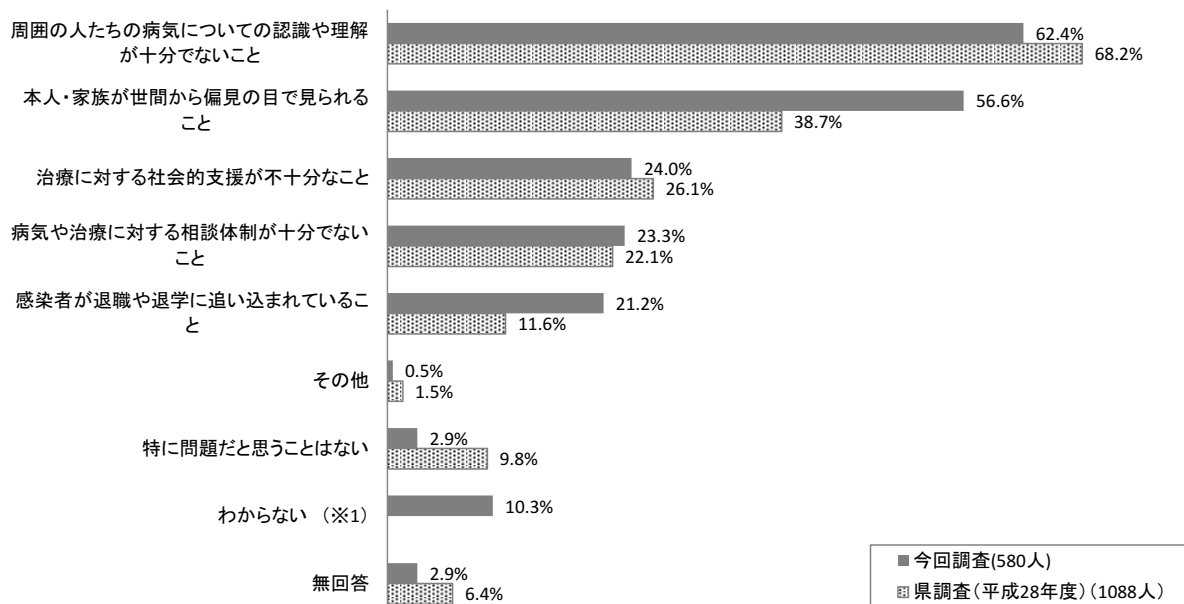
(〇はいくつでも)



※1 「わからない」という選択肢は、県調査（平成 28 年度）にはない。

18 患者及び感染者等の人権問題

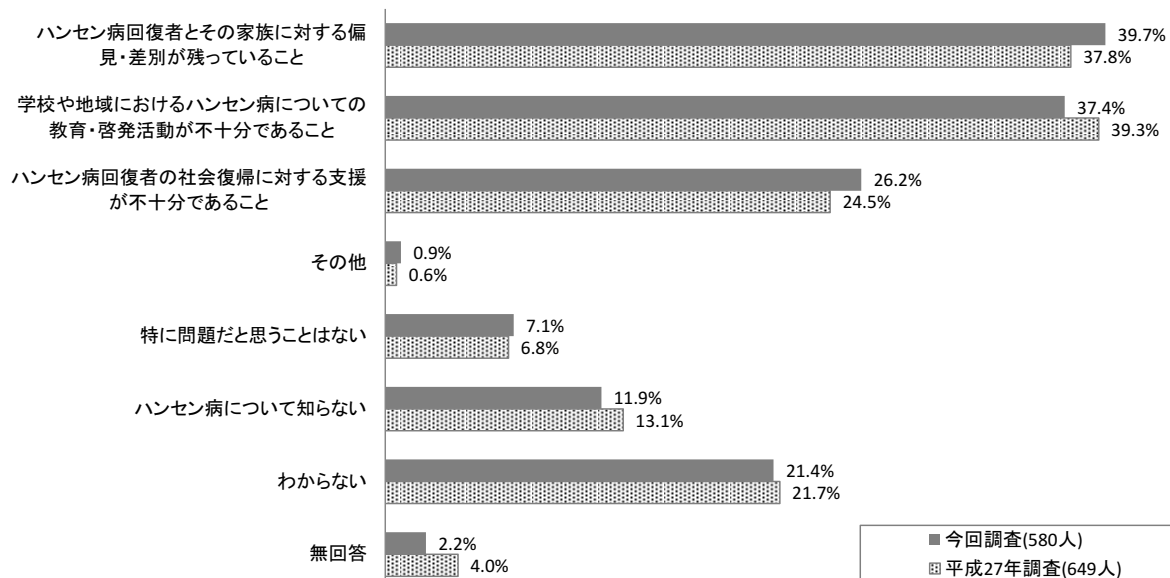
問 18 HIV（エイズの原因ウイルス）感染者、肝炎ウイルス感染者、新型コロナウイルス感染者などの人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。（〇はいくつでも）



※1 「わからない」という選択肢は、県調査（平成 28 年度）にはない。

19 ハンセン病回復者とその家族の人権問題

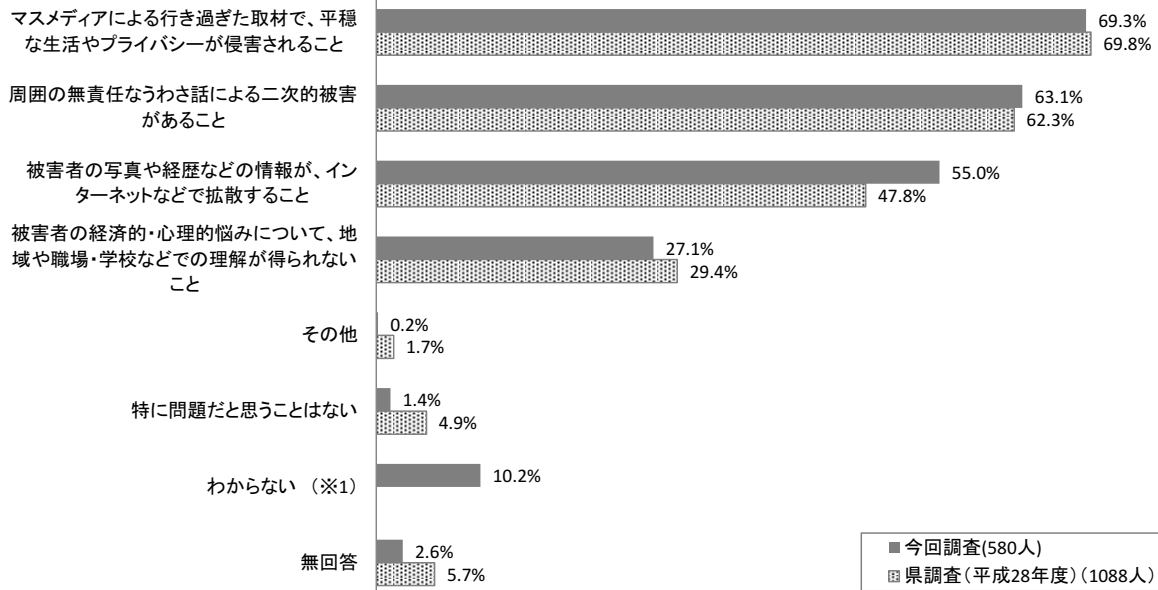
問 19 ハンセン病回復者とその家族の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。（〇はいくつでも）（※1）



※1 平成 27 年調査では、「〇は 2 つまで」としていた。

20 犯罪被害者とその家族の人権問題

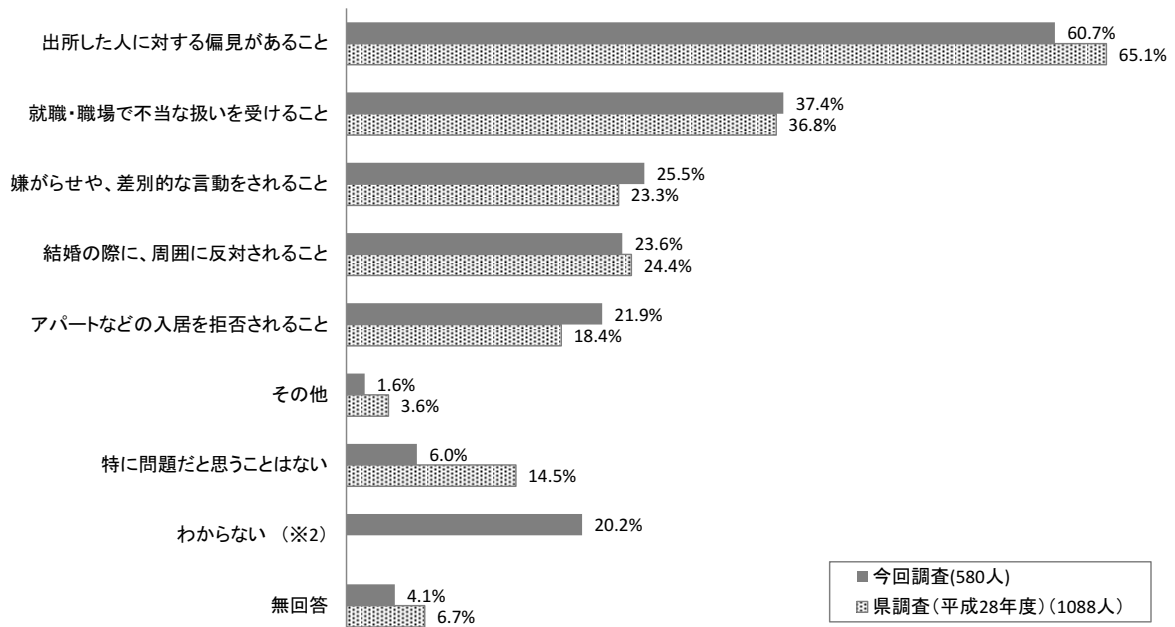
問 20 犯罪被害者とその家族の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも)



※1 「わからない」という選択肢は、県調査(平成28年度)にはない。

21 刑を終えて出所した人の人権問題

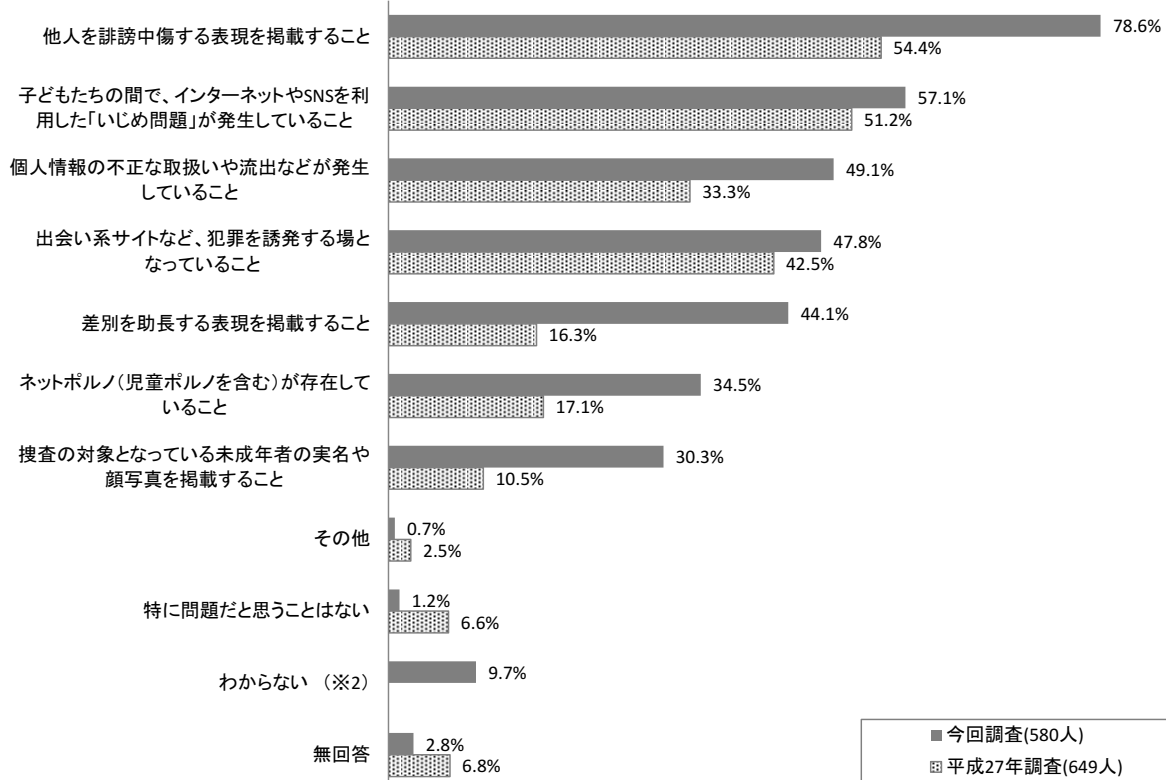
問 21 刑を終えて出所した人の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも)



※1 「わからない」という選択肢は、県調査(平成28年度)にはない。

22 インターネットやSNSによる人権侵害

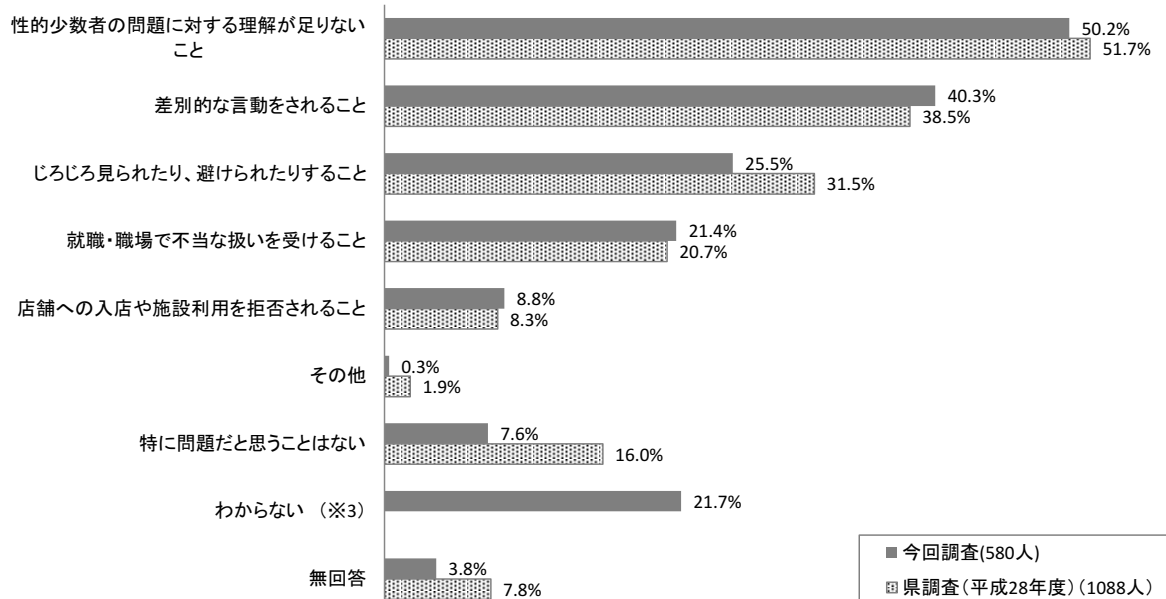
問 22 インターネットや SNS による人権侵害について、どのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも) (※1)



※1 平成 27 年調査では、「〇は 3 つまで」としていた。
 ※2 今回調査から新たに追加した。

23 性的少数者の人権問題

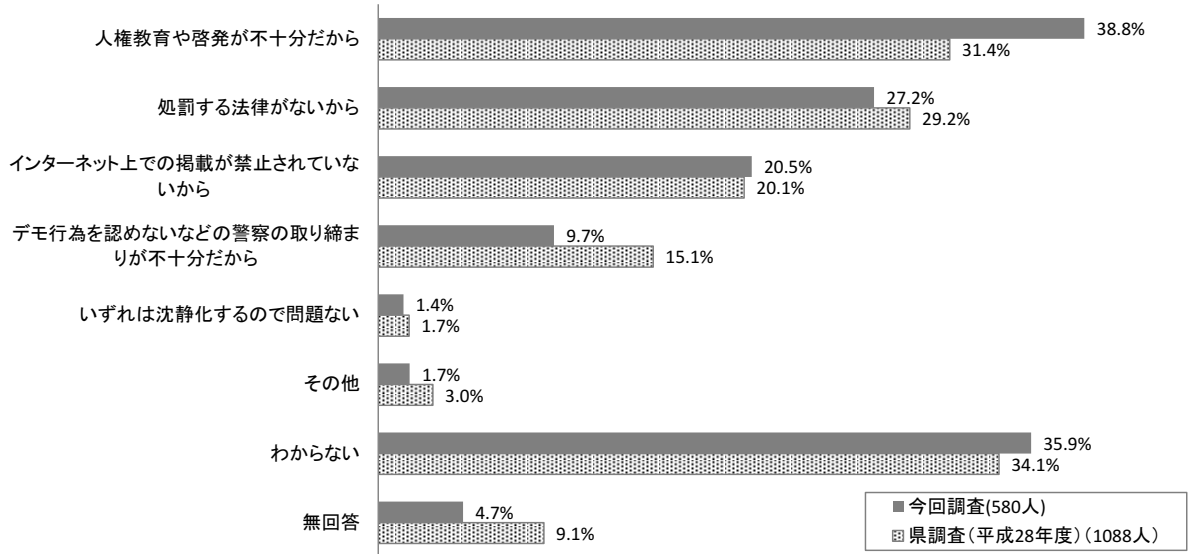
問 23 性的少数者の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも)



※1 「わからない」という選択肢は、県調査(平成 28 年度)にはない。

24 ヘイトスピーチについて

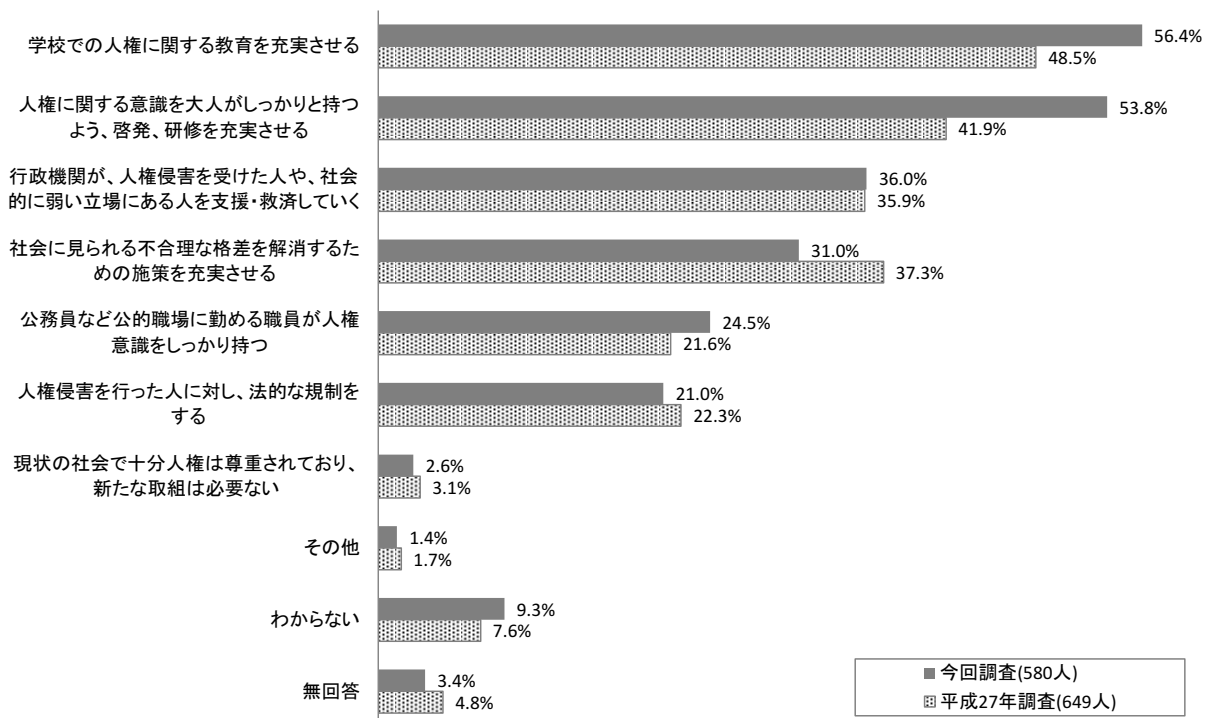
問 24 ヘイトスピーチ^(※1)がなくなるには、何が問題だと思いますか。
(〇はいくつでも)



※1 「ヘイトスピーチ」：特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとしたりするなどの一方的な内容の言動。

25 人権が尊重される社会に向けた取組

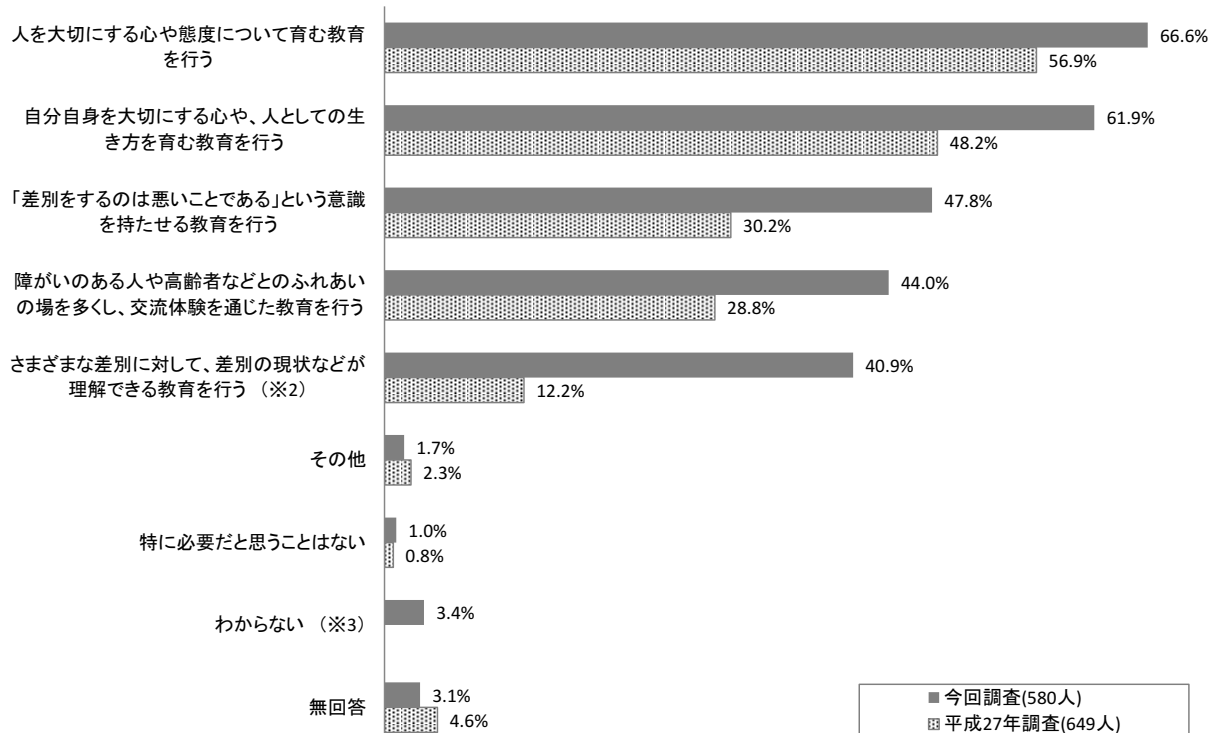
問 25 人権が尊重される社会を実現するために、行政の施策としてどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)^(※1)



※1 平成27年調査では、「〇は3つまで」としていた。

26 人権尊重のための学校教育

問 26 人権を尊重する心や態度を育み、実践行動に移せる力を育てるために、学校においてどのような教育を行ったらよいと思いますか。(〇はいくつでも) ※1



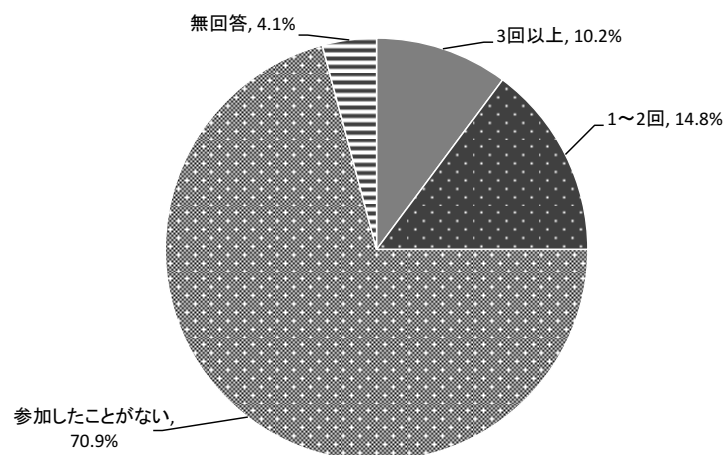
※1 平成 27 年調査では、「〇は 2 つまで」としていた。

※2 平成 27 年調査では、「歴史的な経過や、差別の現状などが理解できる教育を進めればよい」としていた。

※3 今回調査から新たに追加した。

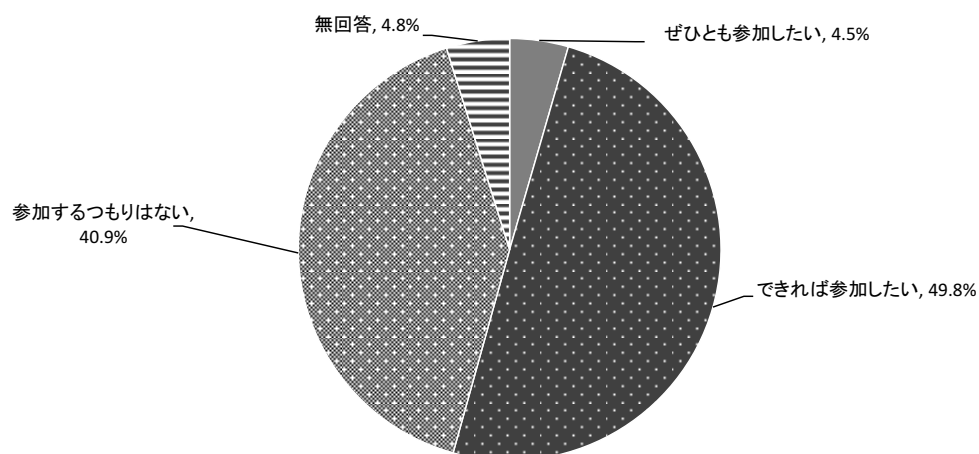
過去の研修会への参加状況について

あなたは、過去3年くらいの間に、人権問題に関する講演会や研修会に、何回くらい参加しましたか。(〇は1つ)

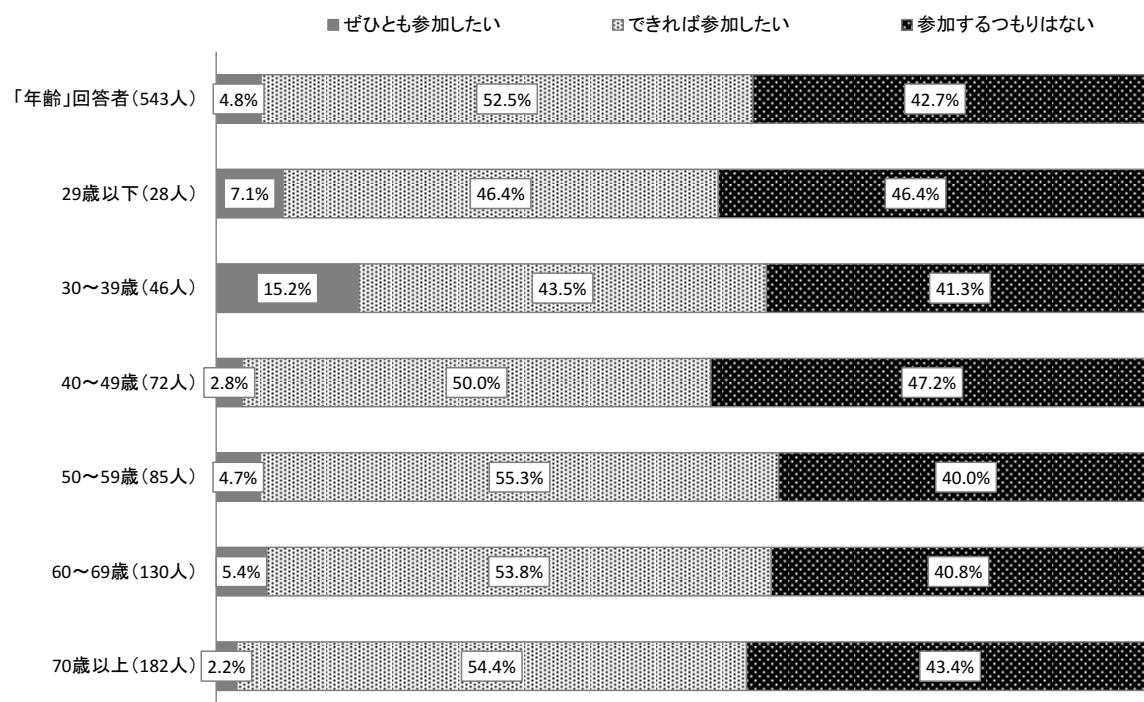


今後の研修会への参加について

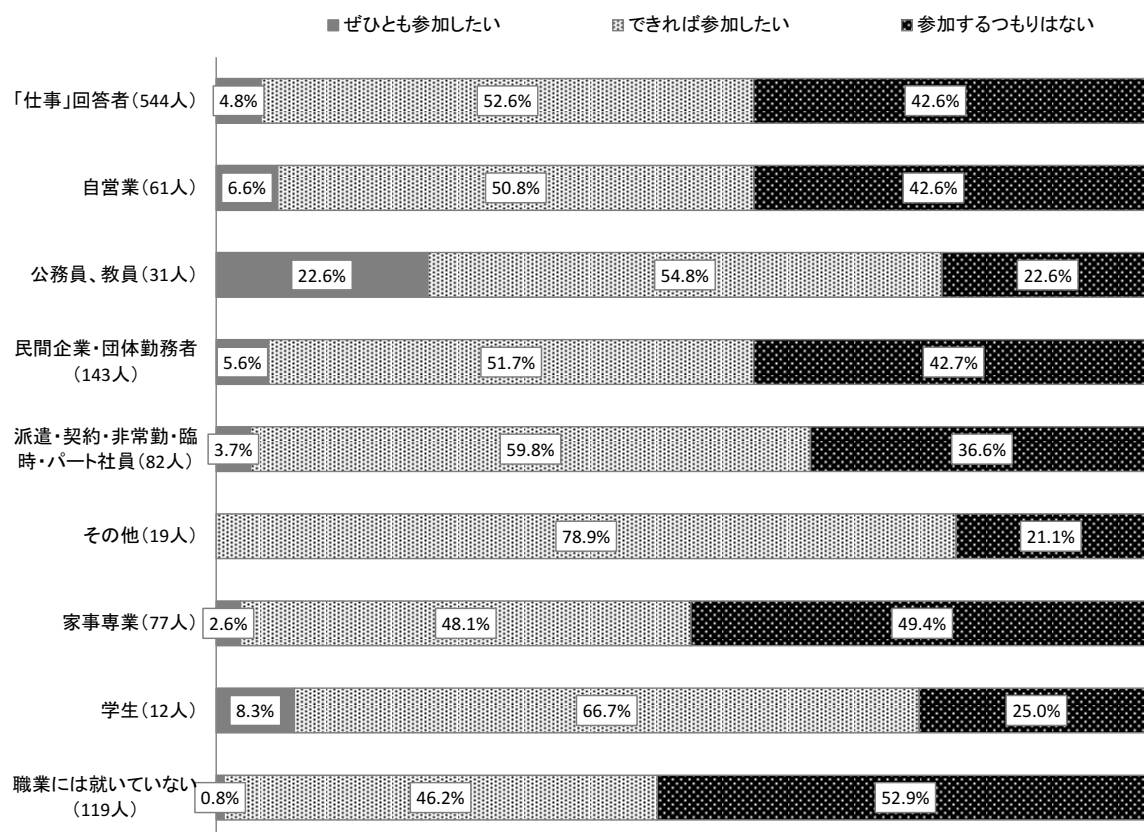
今後、人権問題の講演会や研修会があれば、参加されますか。(〇は1つ)



《年代別の比較》



《仕事別の比較》

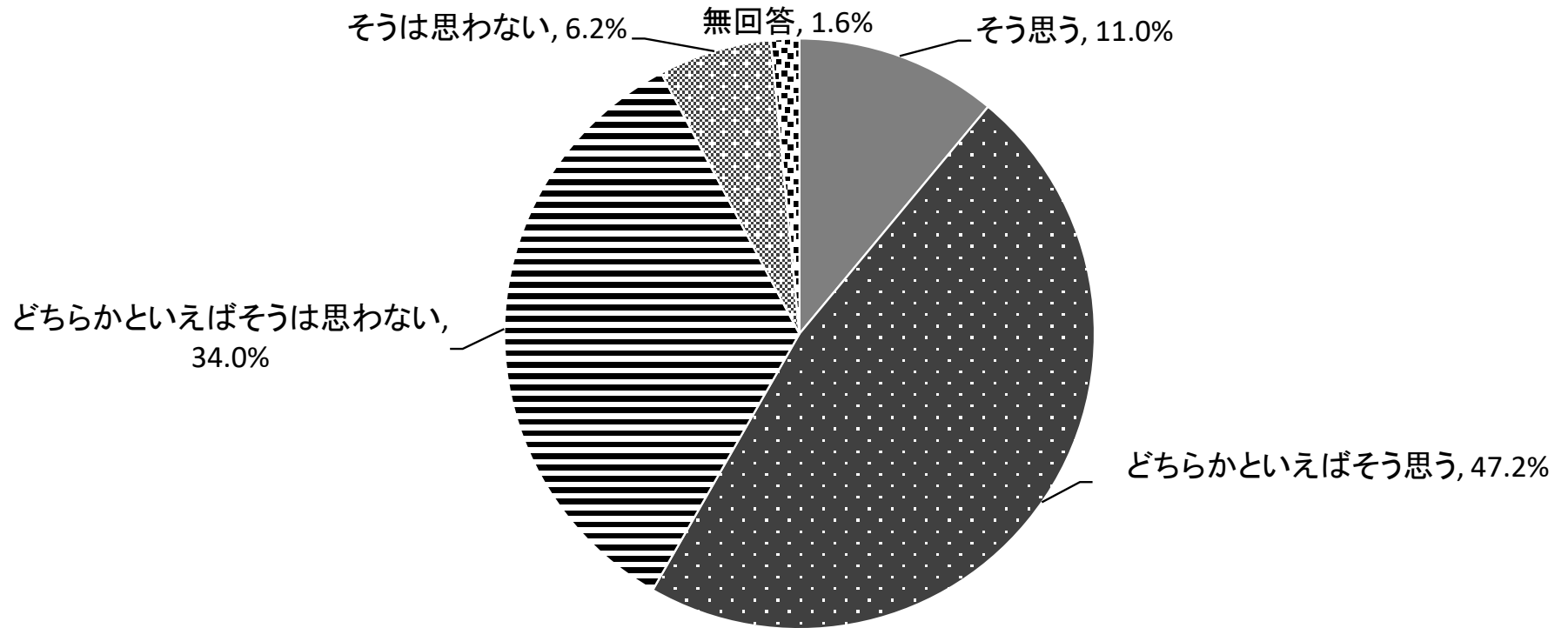


人権条例に向けた 取組について

人権をめぐる動きについて

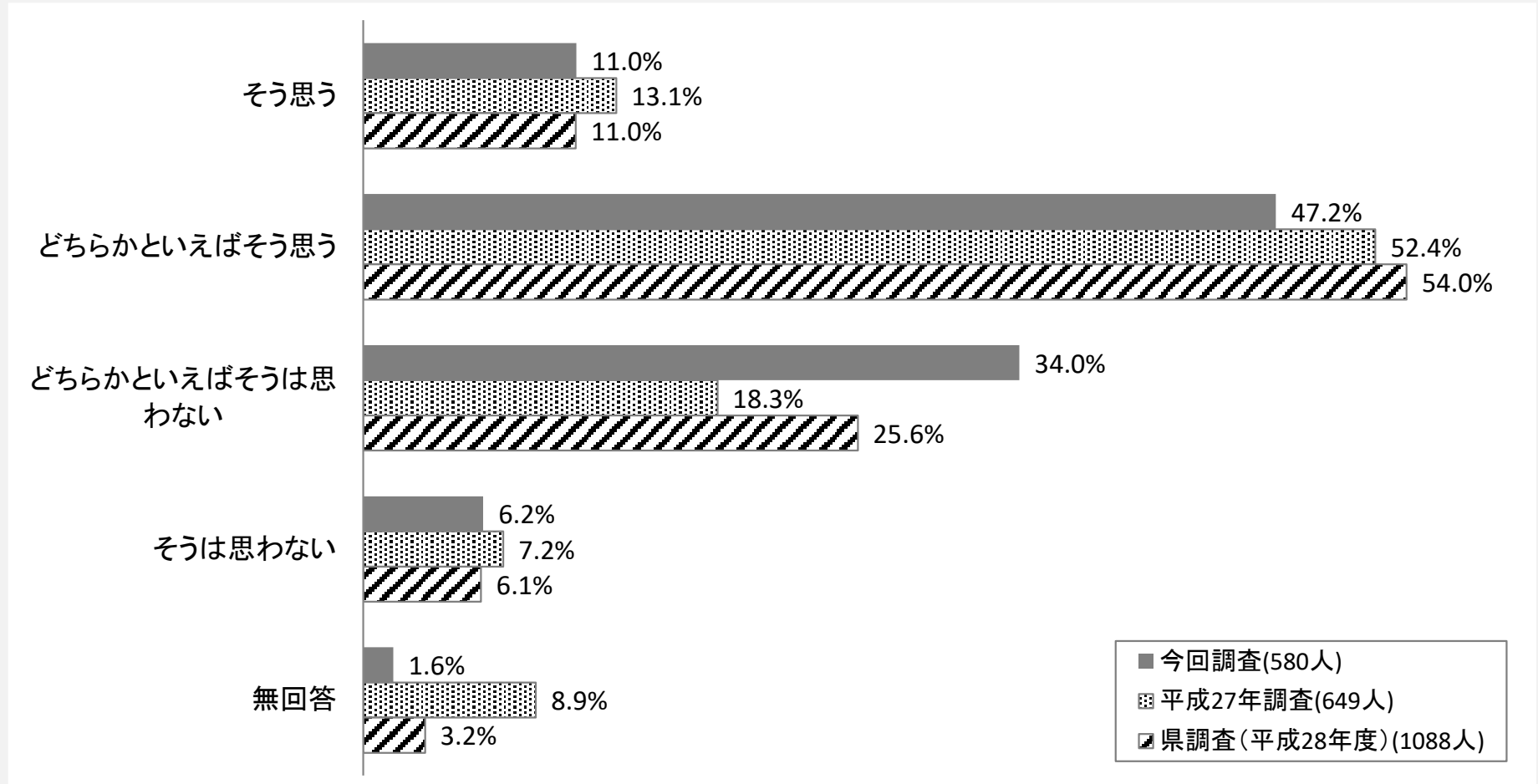
2 人権問題に関する市民意識調査の結果について

問1 今の社会は人権が尊重されていると思いますか（P3）



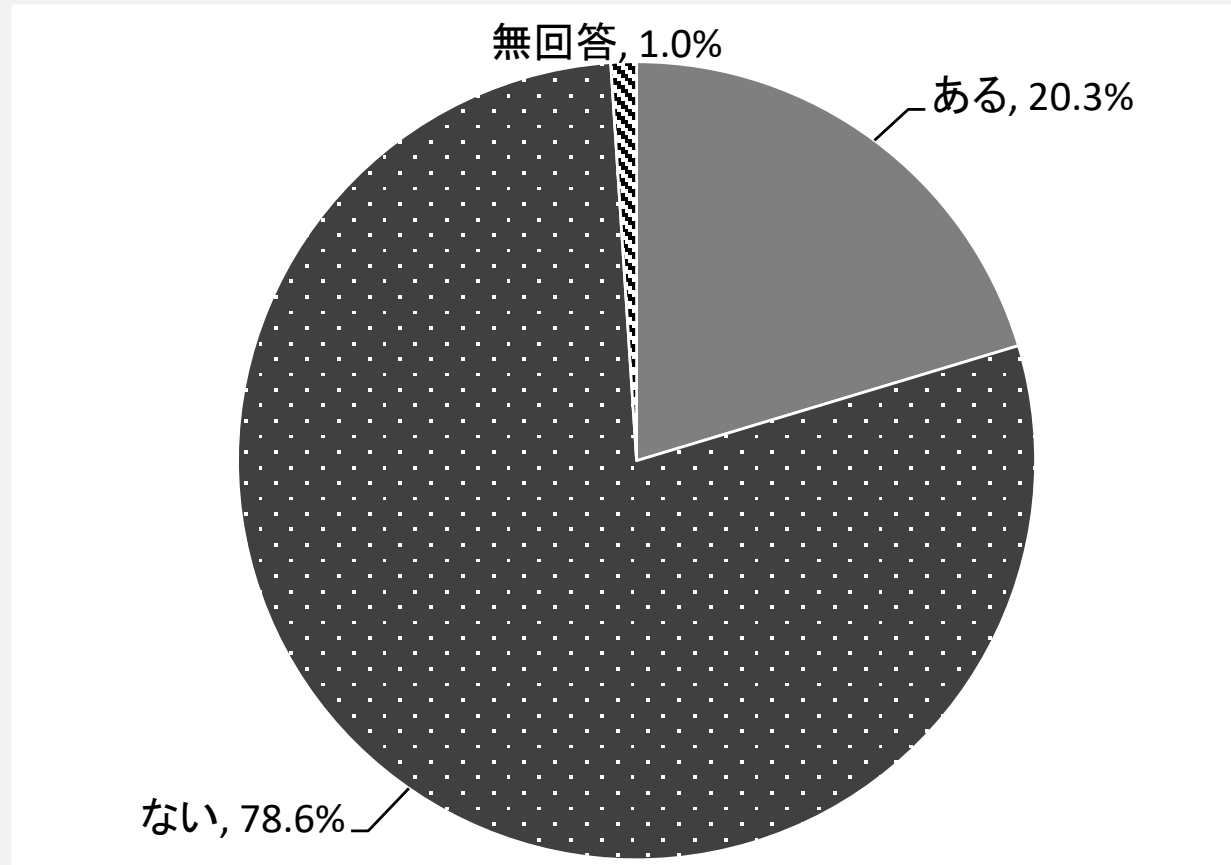
2 人権問題に関する市民意識調査の結果について

問1 今の社会は人権が尊重されていると思いますか（P3）



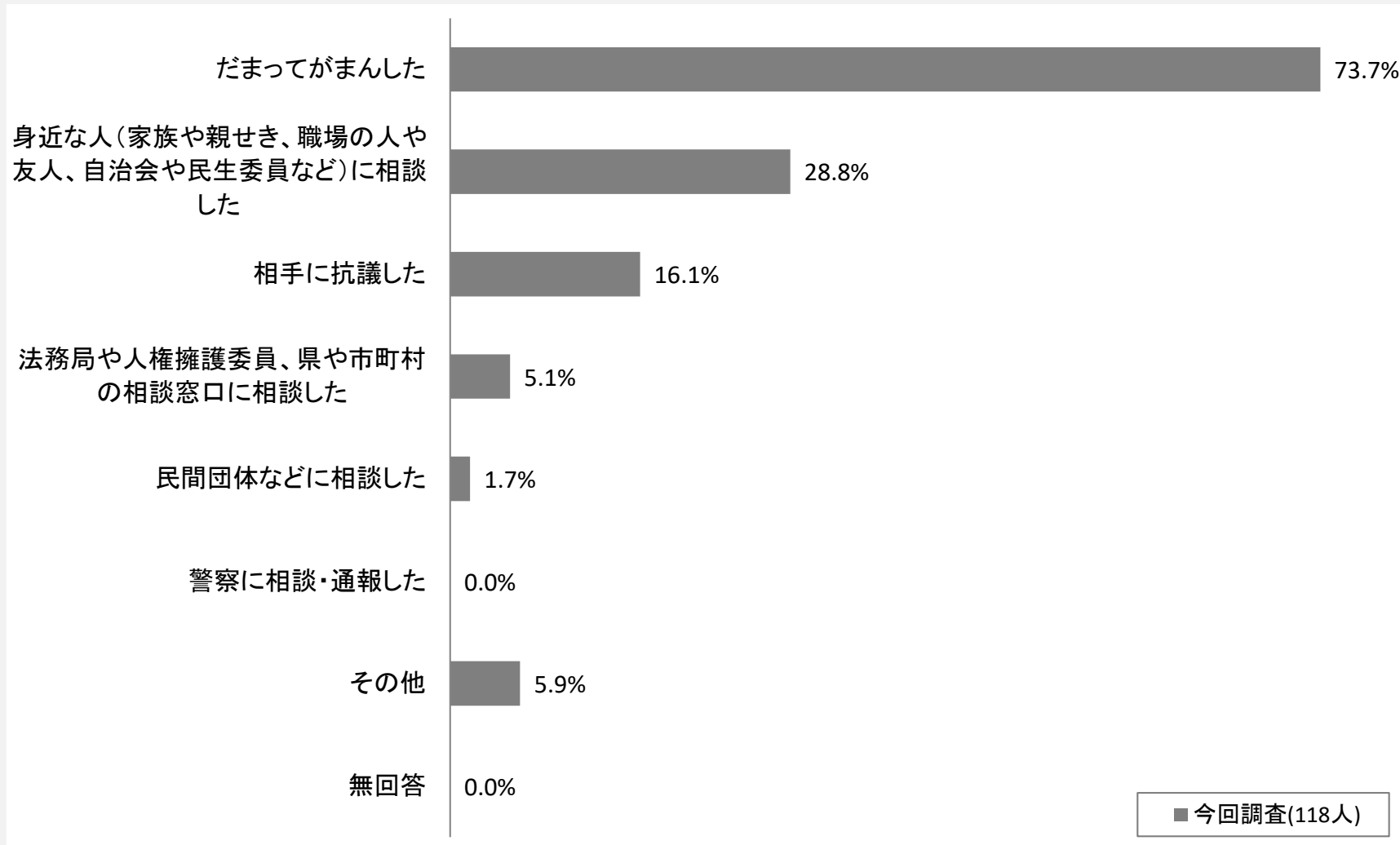
2 人権問題に関する市民意識調査の結果について

問3 過去5年くらいの中に、日常生活の中で、あなたご自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか（P6）



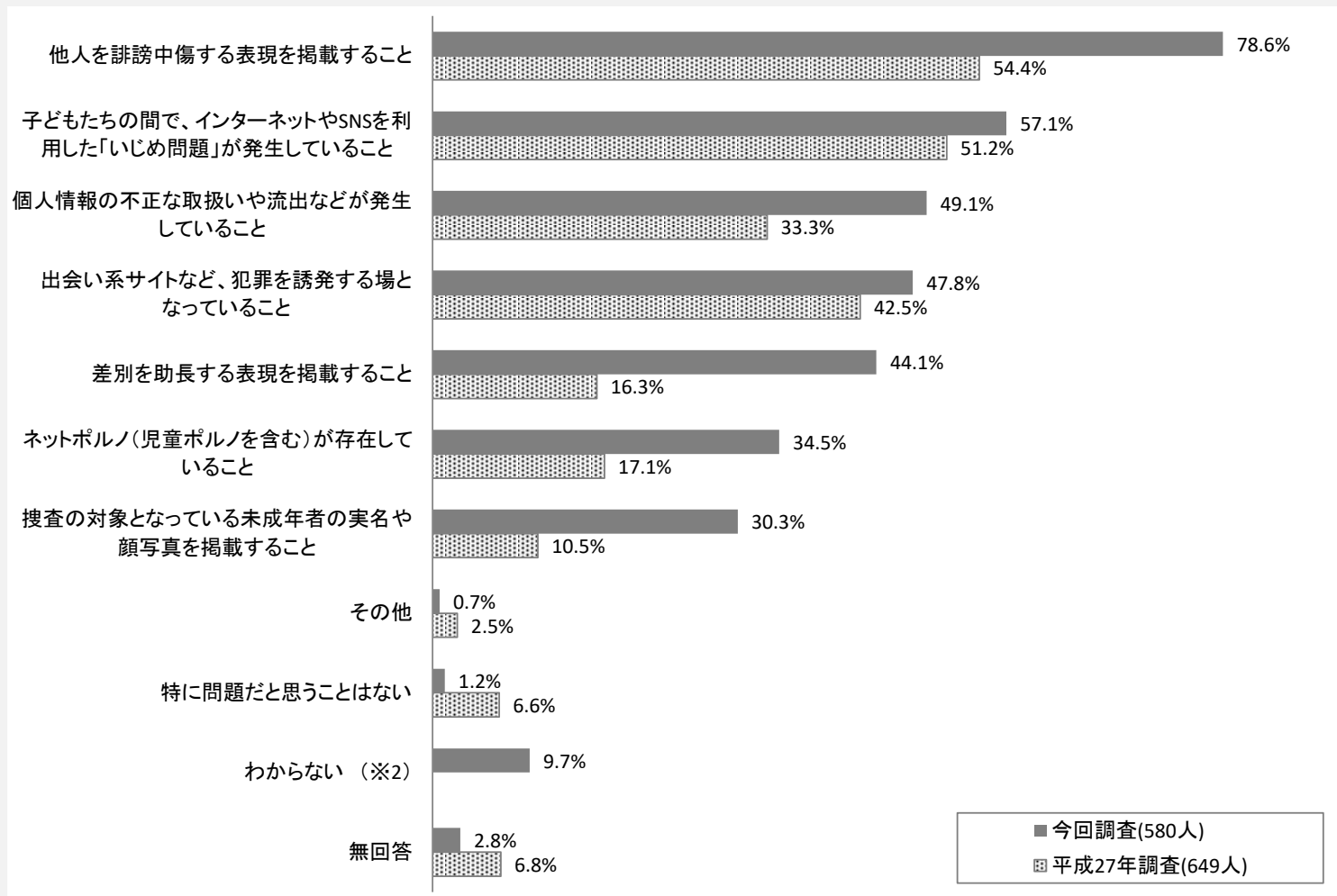
2 人権問題に関する市民意識調査の結果について

問5 問3であると回答された方にお聞きします。
そのときあなたはどうしましたか（〇はいくつでも）（P7）



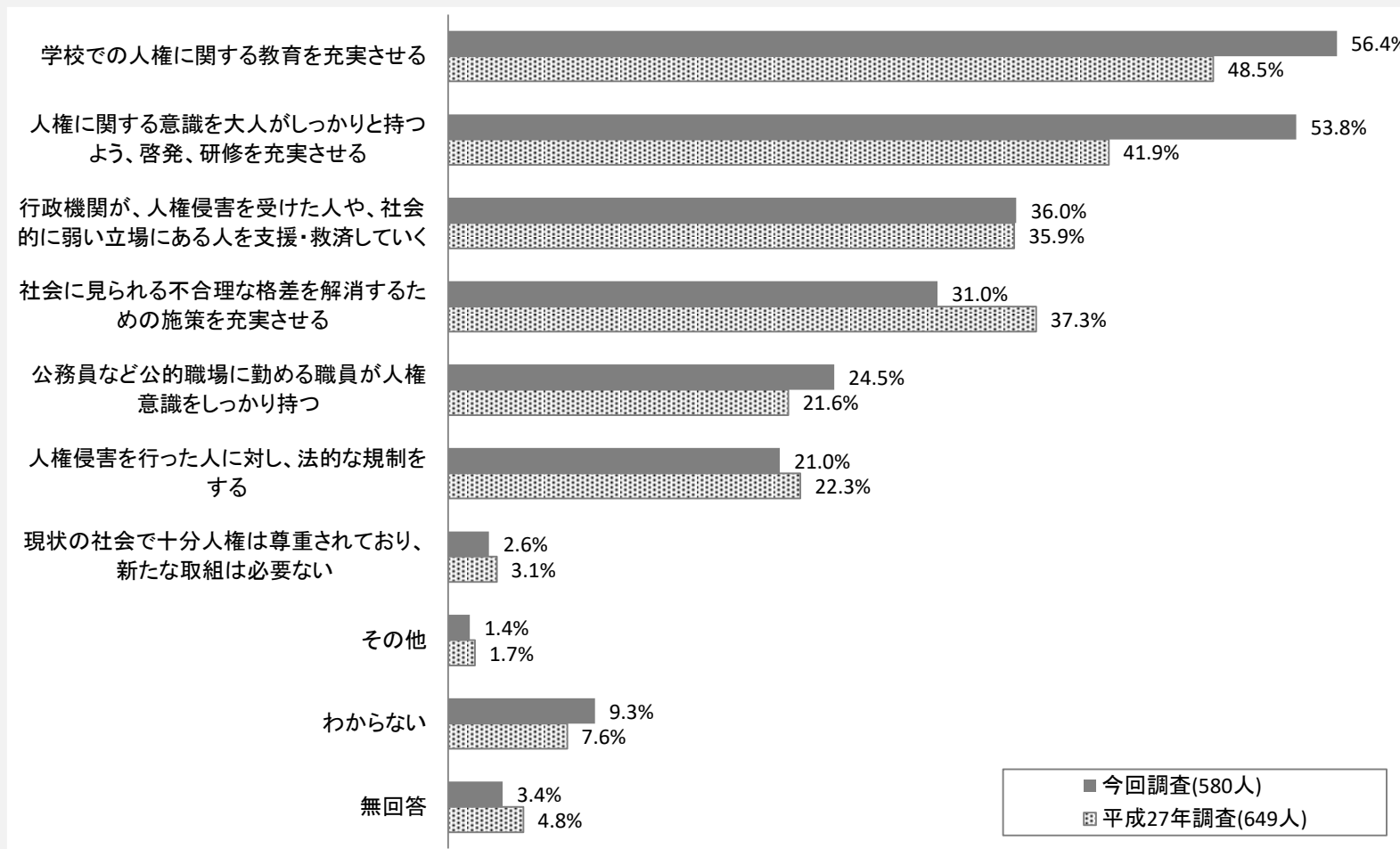
2 人権問題に関する市民意識調査の結果について

問22 インターネットやSNSによる人権侵害について、
どのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも)
(P22)



2 人権問題に関する市民意識調査の結果について

問25 人権が尊重される社会を実現するために、行政の施策としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)
(P23)



3 浜田市人権尊重のまちづくりに関する条例制定の背景・理由

- 現在、浜田市の人権施策は、令和4年2月に改定した「浜田市人権教育・啓発推進基本計画」に基づき取組を進めている。
- 本条例は、計画の趣旨を踏まえ、市全体が協力し、人権尊重の理念の普及の推進を目的として制定する。
- 依然として様々な人権問題が存在し、時代の進展とともに新たな人権問題が生じている。

- 人権に関する理念の普及を推進する。
- 本市全体における人権尊重の理念の普及と人権尊重のまちづくりを一層推進し、市民一人一人の意識向上を図る。
- 社会情勢や時代の進展で生じる新たな人権問題へ適切に対応する。